マイコンソフト

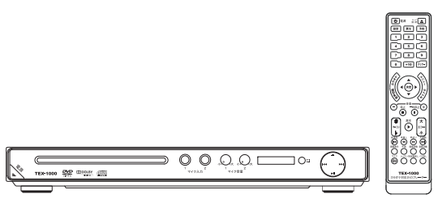
カラオケ対応 DVD プレーヤー

TEX-1000

取 扱 説 明 書

家庭用

ご注意：この製品は家庭用に設計・製造されており、業務用としてご使用いただくことはできません。



お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。この「取扱説明書」は保証書兼用（裏表紙）となっておりますので、お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

はじめに

接続と準備

再生をする

カラオケを楽しむ

設定をする

困ったときは

その他

目次

目次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・ 3
ディスクについての予備知識 ・・・・・ 7
再生できるディスクについて ・・・・・・・・・・・・・・ 7
再生できないディスクについて ・・・・・・・・・・・・・・ 7
DVD に表示されているマークについて ・・・・・・・・・・ 7
DVD の再生について ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
テレビ方式について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
使用できないディスク ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
ディスクの取り扱いについて ・・・・・・・・・・・・・・ 8
ディスクの保管とお手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・ 8
主な特長・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
付属品を確認する ・・・・・・・・・・・ 9
各部の名称と機能 ・・・・・・・・・・ 10
リモコンボタンの名称と機能 ・・・・・・・・・・・・・ 10
表示部の名称と機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
本体の名称と機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
リモコンに電池を入れる / 交換する ・・・・・・・・・・ 14
リモコンの使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
接続と準備・・・・・・・・・・・・・・ 15
テレビへの接続 ー「ビデオ」端子への接続・・・・・・ 15
テレビへの接続 ー「S 映像」端子への接続 ・・・・・・ 16
テレビへの接続 ー「D 映像」端子への接続・・・・・・ 16
ステレオへの接続 ー アナログ音声への接続・・・・・・ 17
ステレオへの接続 ー デジタル音声への接続 ・・・・・ 17
ディスクを再生する ・・・・・・・・ 18
コンセントに接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
電源を入れる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
ディスクを挿入する ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
再生 / 一時停止をする・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
停止をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
早送り / 早戻しをする ・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
次の曲（前の曲）を選曲する・・・・・・・・・・・・・ 20
曲（タイトル）番号を指定して再生する ・・・・・・・・ 20
メニューから再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
予約再生をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
予約を追加・修正する・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
くり返し再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
指定繰り返し再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
画面表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
字幕表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
画面切換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
音質切換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
カラオケ機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
音声切換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
カラオケを楽しむ ・・・・・・・・・・ 27
マイクを使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
エコー機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
キーコントロール機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
レッスン機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
カラオケに便利な機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
設定画面を操作する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
一般設定 ー アングルマーク ・・・・・・・・・・・・・ 30
一般設定 ー 画面表示言語 ・・・・・・・・・・・・・・ 30
一般設定 ー 画面モード ・・・・・・・・・・・・・・・ 30
一般設定 ー 字幕 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
一般設定 ー スクリーンセーバー・・・・・・・・・・・・ 31
一般設定 ー HDCD ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
一般設定 ー PBC ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
音声設定 ー スピーカー設定 ・・・・・・・・・・・・・ 31
音声設定 ー デジタル音声設定 ・・・・・・・・・・・・ 32
音声設定 ー マイク設定 ー マイク ・・・・・・・・・・ 32
音声設定 ー マイク設定 ー マイク音量 ・・・・・・・・ 32
音声設定 ー マイク設定 ー エコー ・・・・・・・・・・ 32
音声設定 ー イコライザー設定 ー イコライザー方式 ・・ 32
音声設定 ー イコライザー設定 ー 低音強調 ・・・・・・ 33
音声設定 ー イコライザー設定 ー スーパーバス ・・・・ 33
音声設定 ー イコライザー設定 ー 高音強調 ・・・・・・ 33
音声設定 ー 3D 設定 ー リバーブモード・・・・・・・・・ 33
音声出力 ー ダイナミックレンジ ・・・・・・・・・・・・ 34
映像設定 ー ビデオ出力 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
映像設定 ー 画質設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
その他 ー テレビ信号方式 ・・・・・・・・・・・・・・・ 35
その他 ー 音声設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
その他 ー 字幕設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
その他 ー メニュー言語 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
その他 ー 視聴制限 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
その他 ー パスワード ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
その他 ー 初期化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
困ったときは ・・・・・・・・・・・・ 37
主な仕様・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
音のエチケット ・・・・・・・・・・・・ 38
著作権について・・・・・・・・・・・・・ 39
ご相談や修理は・・・・・・・・・・・・・ 40

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について
この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

●本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V 以外の電圧で使用しない

●本機を使用できるのは日本国内のみです。
●表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

●本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
●本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
●テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
●本機を設置する場合は、壁から 10cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から 2cm 以上、背面から 5cm 以上のすきまをあけてください。

安全上のご注意

■ 水のかかるところに置かない

●風呂場など水気のある場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

●本機の通風孔、ディスクトレイなどから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

●万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

●雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

●乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

安全上のご注意

⚠注意

■ 設置上の注意

●強度の足りない台や、ぐらついたり傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

●本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

●本機の上に 10kg 以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

●お子様がディスクトレイに手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクが機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

●レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

安全上のご注意

■ 電源コード、電源プラグの注意

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

●電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス「+」とマイナス「−」の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。

●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検について

●お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

●使用環境にもよりますが、2 年に 1 回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

●電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期の前が効果的です。

●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり、変形したりすることがあります。

●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

ディスクについての予備知識

再生できるディスクについて

再生できるディスクの種類とマーク	
DVD ビデオ	CD
DVD±R　DVD±RW	CD-R
VIDEO-CD　CD-G	CD-RW

●上記のマークはディスクのレーベル面、パッケージ、またはジャケットに印刷されています。

● DVD-R/RW ディスクの場合、DVD ビデオフォーマットで記録され、ファイナライズ処理されたディスクをご使用ください。

● CD-R/RW ディスクの場合、オーディオ CD フォーマットで記録され、ファイナライズ処理されたディスクをご使用ください。

再生できないディスクについて

●次のディスクは再生できません。

・リージョン番号が「2」「ALL」以外の DVD ビデオ
・DVD-ROM
・DVD-RAM
・DVD-AUDIO
・SUPER AUDIO CD
・Blu-ray 規格のディスク
・パソコン、ゲーム機用のゲームソフト
・形状が円ではない、特殊な形状のディスク
・ダビング（複製）したディスク
・その他規格外のディスクなど

!注意

ゲーム機用ディスクを誤って再生してしまうと、大音量のノイズ (雑音) が発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損したり、聴力に悪影響を及ぼす可能性があります。

DVD に表示されているマークについて

● DVD のディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

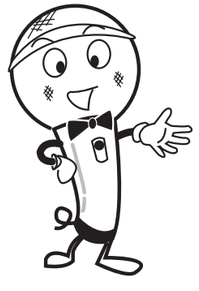
マーク	数字の意味
② ③	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングルの数
4:3 16:9 LB	記録されている映像のアスペクト比（縦横比）
2　ALL	リージョン番号（地域番号）を表わします。本機はリージョン番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVD の再生について

● DVD のディスクによっては、制作者の意図により再生直後の画面などで早送りができないなど、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。ディスクによって禁止されている操作をしたときは、画面に禁止マークが出ます。

テレビ方式について

●本機は日本やアメリカなどのテレビ方式である NTSC 方式に適合しています。NTSC 方式以外のテレビ方式（PAL）等用の DVD ビデオ / ビデオ CD は、NTSC 方式に変換して再生します。

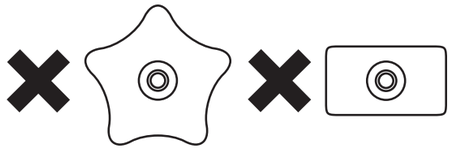


ディスクについての予備知識

使用できないディスク

●特殊形状のディスク

星型や長方形型などの特殊な形状のディスクは使用しないで下さい。故障の原因となります。



●破損・変形したディスク

亀裂の入ったディスク、接着剤やセロテープなどで補修したディスク、反りなど変形したディスクは使用しないで下さい。故障の原因となることがあります。ディスクは高速で回転するため、このようなディスクを使用された場合、大きな音や振動が発生したり、機器内でディスクが破壊され、破片が飛び散りけがをする恐れがあります。

●加工したディスク

レーベル面 (文字が書かれている面) に紙やセロハンテープなどを貼らないでください。機器内で剥がれ、故障の原因となります。また、ボールペンなど硬いもので文字を書き込んだり、傷を付けないようにして下さい。

ディスクの取り扱いについて

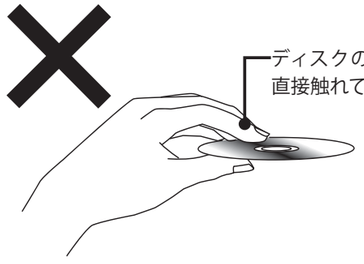
●ディスクは大切に

ディスクは大変デリケートなものです。正しく取り扱わないと、ディスクの読み取りに時間が掛かったり、画像が乱れたり、再生が不安定になったり、ノイズ (雑音) や音とびが発生したりする原因となります。

●ディスクの持ち方

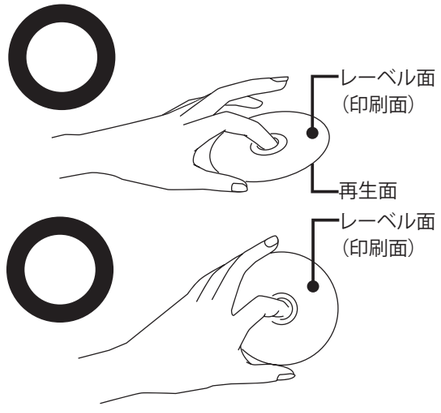
誤った持ち方

ディスクを直接指で触れると、キズが付いたり、指紋や皮脂が付着し、ディスクが読み取れなくなってしまう場合があります。



正しい持ち方

再生面 (レーベルが印刷されていない面) に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。



ディスクの保管とお手入れ

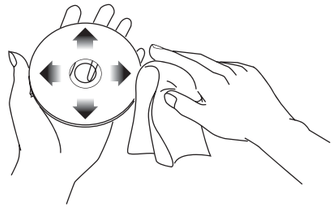
●ディスクの保管について

使用しないディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースに戻して保管してください。また、次のようなところに絶対に置かないでください。

- 極端な温度環境
- 直射日光の当たる場所
- 湿気が高い場所
- ほこりや砂塵、油煙の多いところ
- 暖房器具の近くや自動車の中など

●お手入れについて

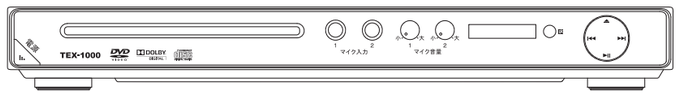
ディスクが指紋やほこりで汚れていると、信号の読み取りエラーが発生し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。ディスクが汚れている場合は、再生面についた指紋やほこりを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



アナログレコード用のクリーナーやスプレーは使用できません。また、シンナーおよびベンジンなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

主な特長

■ DVD ビデオ、CD をはじめ、多彩なディスクに対応。
■ マルチ音声カラオケディスクに対応。ガイドメロディの切り換えなどが自由自在です。
■ カラオケレッスン機能を搭載。初心者でも安心です。
■ ２系統のマイク入力が可能。デュエットが楽しめます。
■ エコー・キーコントロールなど、カラオケ機能が充実。
■ 操作がわかりやすいカラーボタンのリモコンが付属。
■ カラオケの予約再生が可能。みんなで盛り上がれます。

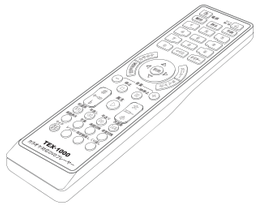


付属品を確認する

●本機には以下の付属品が同梱されています。ご使用頂く前に付属品がすべて揃っているか、お確かめください。

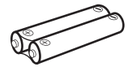
・リモコン・・・**1 台**

本機を離れたところから操作することができます。乾電池をセットしてから使用します。



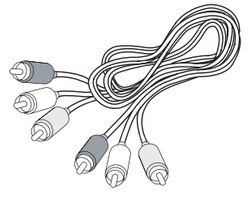
・単 4 乾電池・・・**2 個**（動作確認用）

リモコン用の乾電池です。消耗した場合には、市販の単 4 乾電池が使用できます。



・映像 / 音声ケーブル・・・**1 本**

ビデオ映像と音声（右 / 左）信号をテレビに接続するためのケーブルです。



・取扱説明書 兼保証書・・・**1 冊**

本書です。正しくお使いいただくために、ご使用前によくお読みになり、いつでも手の届くところに保管してください。

各部の名称と機能

リモコンボタンの名称と機能

電源
電源をオン / オフ（スタンバイ）します。

設定
設定画面を表示します。

戻る
再生中は DVD メニューに戻ります。メニュー表示中は再生を再開します。

ダイレクトキー
曲番号や数字を入力します。

+10
十の位を入力するときに使います。（例）21 を入力する場合、[+10] を 2 回、[1] を 1 回押します。

カラオケ
カラオケモードを変更します。

音声切換
主 / 副音声、またはカラオケの音声（ガイドメロディなど）を切り換えます。

停止
再生を終了します。

再生
再生をします。

キーコン
カラオケのキーを上下します。

前選曲
曲（チャプター）の頭出しをします。

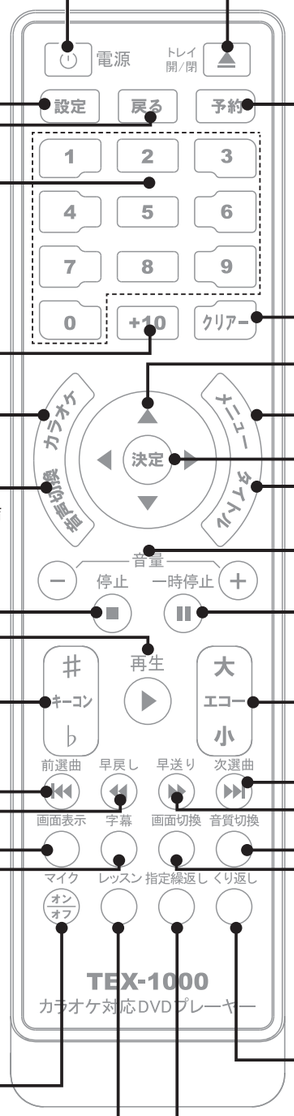
早戻し
早戻しをします。

画面表示
再生時間 / 残り時間の表示・非表示を切り換えます。

字幕
字幕言語を切り換えます。

マイク
マイクを有効 / 無効にします。

レッスン
レッスンモードを選択します。



トレイ開 / 閉
ディスクトレイを開 / 閉します。

予約
予約画面を表示します。

クリアー
設定を取り消します。

カーソル
メニューや設定画面など、上下左右の方向を指定します。

メニュー
チャプターメニューを表示します。

決定
選んだ項目を決定します。

タイトル
タイトルメニューを表示します。

音量ー / ＋
音量を調整します。

一時停止
再生を一時停止します。

エコー
エコーの強弱を調整します。

次選曲
次の曲（チャプター）を再生します。

早送り
早送りをします。

音質切換
音響効果を切り換えます。

画面切換
アングルを切り換えます。

くり返し
繰り返し方法を変更します。

指定繰返し
1 回目に押した場所（A）から 2 回目に押した場所（B）までを繰り返し再生します（AB 間リピート）。

各部の名称と機能

表示部の名称と機能

DVD インジケーター
DVD が挿入されているときに点灯します。

再生インジケーター
ディスクを再生している時に点灯します。

多目的表示部
ディスクの状態、経過時間などが表示されます。DVD の映像が開始されない場合など、この部分で状態を確認してください。

一時停止インジケーター
ディスクの再生を一時停止しているときに点灯します。

CD インジケーター
CD または CD-G が挿入されている時に点灯します。VIDEO-CD では点灯しません。

・オン
本機の電源がオンになったときや、スタンバイ（待機）から復帰したときの状態です。

・オープン
ディスクトレイが開いている状態です。使用しないときは、できるだけディスクトレイを閉じてください。

・ノー ディスク
ディスクが入っていないか、対応しないディスク、汚れや傷で読み取れないディスク、またはディスクの裏表が逆になっています。ディスクトレイを開いてディスクの状態を確認してください。

・スタンバイ
スタンバイ (待機) 状態です。リモコンの電源ボタンを押すことで復帰します。本機の電源がオンの状態でリモコンの電源ボタンを押すか、本機の電源がオンの状態でディスクを再生しない状態が長時間経過すると、自動的にスタンバイ状態となります。

・ロード
ディスクを読み込んでいます。ディスクの種類によっては時間が掛かる場合があります。また、ディスクが汚れたり、傷が付いている場合、この状態が長く続くことがあります。

・ルート、タイトル
DVD ディスクのルートもしくはタイトルメニューを表示しています。これらが表示されるタイミングや表示はディスクによって異なります。

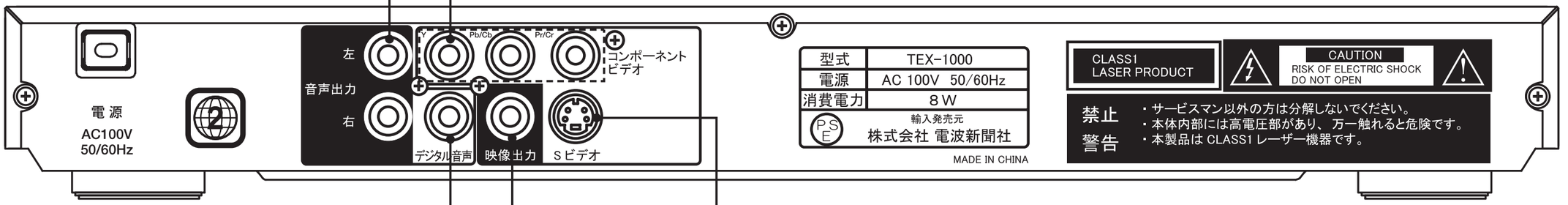
・ストップ
再生を停止している状態です。

・時間表示
再生中に経過時間や残り時間を表示しています。早送りや巻き戻し時の目安にしてください。詳しくは 24 ページの「画面表示」を参照してください。

本体の名称と機能

アナログ音声出力端子
アナログ音声が出力される端子です。テレビの音声入力端子に接続します。端子の色は左が白色、右が赤色です。

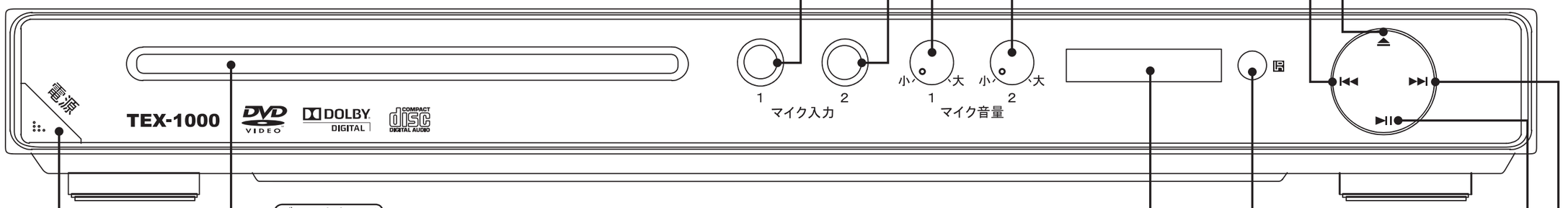
コンポーネント映像出力端子
コンポーネント映像が出力される端子です。コンポーネント映像入力端子のあるテレビや AV アンプなどと接続するときに、市販のコンポーネントビデオケーブルを使って接続します。端子の色は Y が緑色、Pb/Cb が青色、Pr/Cr が赤色です。工場出荷状態では、保護キャップが装着されています。



デジタル音声出力端子
デジタル音声が出力される端子です。デジタル入力端子付きの AV アンプ、MD レコーダー、CD レコーダーなどと接続するときに、市販のオーディオ用同軸デジタルケーブルを使って接続します。端子の色は黒色です。工場出荷状態では、保護キャップが装着されています。

ビデオ映像出力端子
ビデオ映像が出力される端子です。テレビや AV アンプなどと接続するときに、付属のビデオ映像ケーブルを使って接続します。端子の色は黄色です。

S ビデオ映像出力端子
S ビデオ映像が出力される端子です。テレビや AV アンプなどと接続するときに、市販の S 端子ケーブルを使って接続します。



ディスクトレイ
ここにディスクを入れます。電源スイッチがオンのとき、ディスクトレイが青く光ります。

電源スイッチ
電源スイッチです。電源オフの状態で浮き上がります。音がするまで押し込むことによって電源がオンになります。もう一度押すことによって電源がオフになります。

マイク入力 1
市販のマイクを接続するための端子です。

マイク入力 2
市販のマイクを接続するための端子です。
デュエット時には 2 本同時に使用できます。

マイク音量 1
マイク入力 1 の音量を調節します。

マイク音量 2
マイク入力 2 の音量を調節します。

表示部
各種情報が表示される部分です。

受光部
リモコンからの情報を読み取る部分です。
こちらに向けてリモコンを操作してください。

前選曲
曲（チャプター）の頭出しをします。

トレイ開 / 閉
ディスクトレイを開 / 閉します。

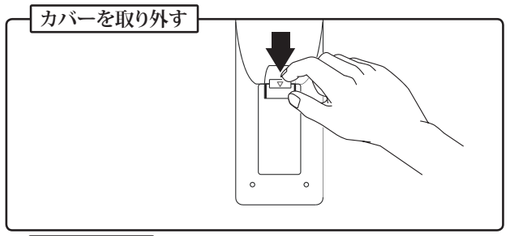
再生 / 一時停止
再生中に押すと一時停止します。もう一度押すと再生します。

次選曲
次の曲（チャプター）を再生します。

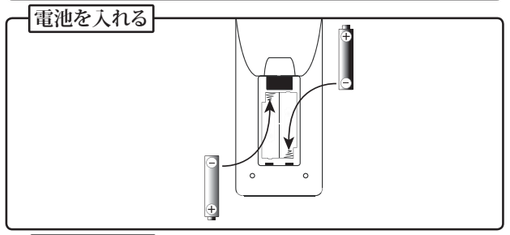
接続と準備

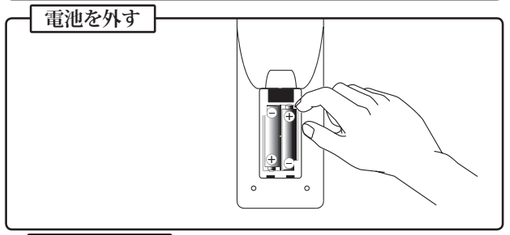
リモコンに電池を入れる / 交換する

1 リモコン背面の「電池カバー」を矢印の方向に押しながら取り外します。



2 「電池」は極性表示に従って（＋）（－）の向きに注意し、（－）側から差し込むように入れてください。
また、電池交換するときは（＋）側から引き起こすように抜いてください。

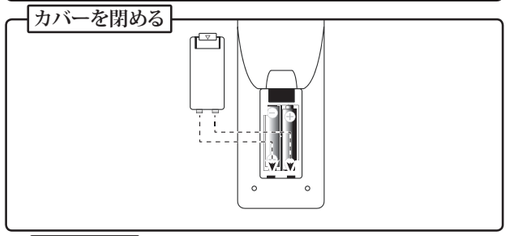




!注意

- 付属の電池は動作確認用です。早目に新しいものに交換してください。
- 電池を交換する際は、2本とも新しいものに交換してください。
- 電池は異なる種類を混ぜて使用しないでください。
- 交換した使用済み電池は、各地方自治体の指導に従って適切に処分してください。

3 ツメを先に入れるようにして「電池カバー」を閉めます。



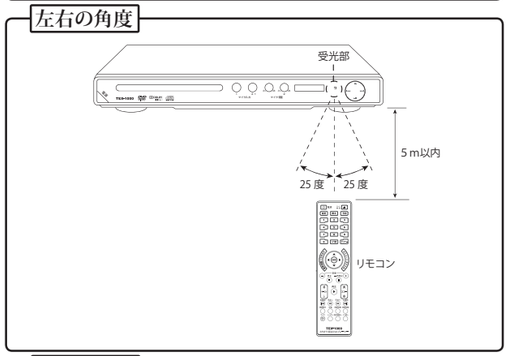
!ヒント

正しく電池カバーが閉まった場合は、「カチッ」と音がします。

リモコンの使い方

●本機を離れたところから操作できます。

リモコンを本機の受光部Ⓡに向けて図のように操作をしてください。



!ヒント

- リモコンの推奨操作距離は5 m以内ですが、環境や電池残量によって異なる場合があります。

!注意

- リモコンを受光部に近づけすぎても誤動作の原因となります。30cm 以上離してお使いください。
- 受光部に直射日光などの強い光があたると、操作が不安定になることがあります。

接続と準備

カラオケの場合はこの接続でお楽しみください。

テレビへの接続 ー「ビデオ」端子への接続

付属のケーブルをテレビにつなぐだけ！簡単接続ですぐにカラオケが楽しめます。

- ●付属のケーブルですぐにカラオケが始められます。
- ●映像とマイク音声の音ズレが発生しにくく、快適にカラオケが楽しめます。

●標準的な接続方法です。付属のケーブルとテレビを接続し、すぐに本機をお楽しみ頂けます。

1 ①付属の「映像 / 音声ケーブル」を本機背面の映像出力端子（黄）」と「音声出力端子（赤・白）」にそれぞれ接続します。同じ色の端子にしっかりと奥まで差し込みます。

!ヒント

- この接続方法に使用しない端子には、保護用のキャップが装着されています。

2 ②付属の「映像 / 音声ケーブル」をテレビの映像入力端子（黄）」と「音声入力端子（赤・白）」にそれぞれ接続します。同じ色の端子にしっかりと奥まで差し込みます。

!ヒント

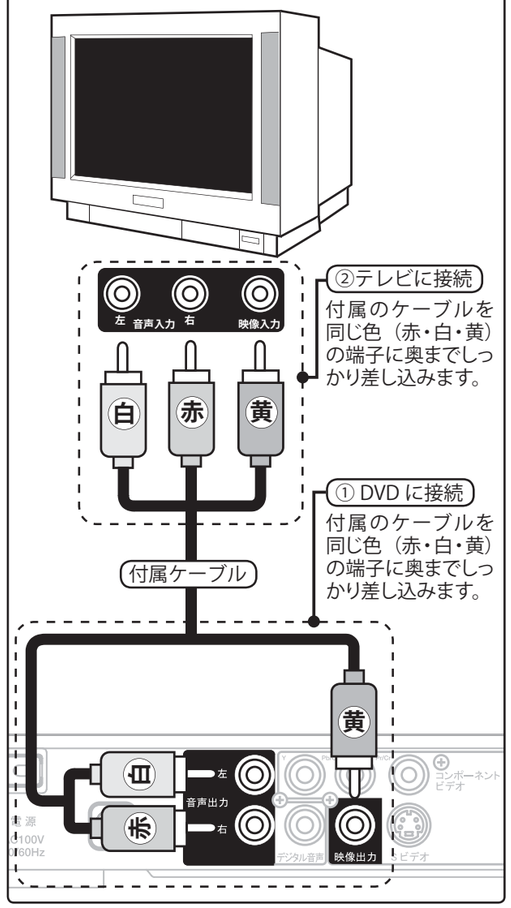
- テレビの機種によっては、「映像入力」端子は「ビデオ入力」と書かれていることがあります。また、複数存在する機種もあります。

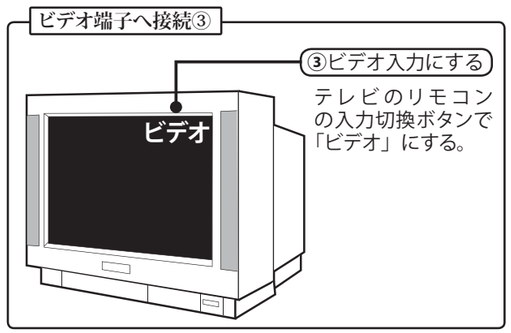
DVD 側・テレビ側それぞれの端子に、付属ケーブルの同じ色を差し込みます。

3 テレビの「入力切換」を「ビデオ」に設定してください。通常はテレビのリモコンの「入力切換」ボタンを押し、テレビの画面に「ビデオ」と表示されます。

!ヒント

- 「入力切換」の詳しい方法は、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの機種によっては、入力1～入力3のように、複数の入力端子が存在することがあります。その場合は、接続した端子と入力切換を合わせてください。





テレビへの接続 ー「S 映像」端子への接続

より鮮明な画質でお楽しみいただけます。
別売の S 映像ケーブルが必要です。

●お使いのテレビに「S 映像入力」端子が搭載されている場合、市販の「S 映像ケーブル」で接続することで、鮮明な画質でお楽しみいただけます。

1 お使いのテレビの「S 映像入力」端子と本機背面の「S ビデオ」端子を市販の「S 映像ケーブル」で接続します。

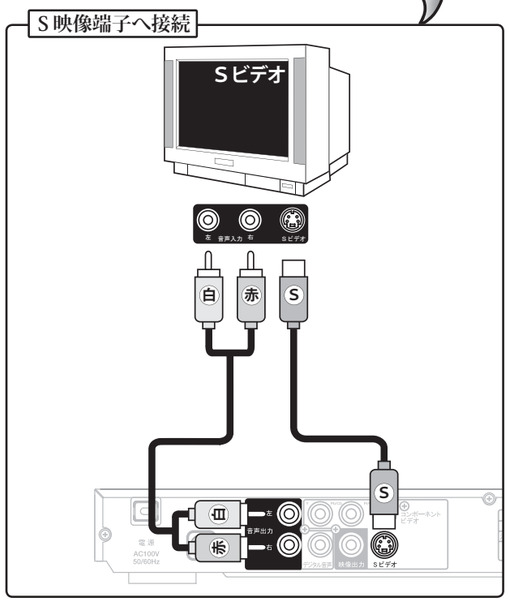
2 本機の「音声出力」端子とテレビの「S 映像」端子と対になった「音声入力」端子に、市販の「音声ケーブル」もしくは付属の「映像 / 音声ケーブル」の音声部分を使って接続します。

3 テレビの「入力切換」を「S 映像」や「S ビデオ」等に設定してください。通常はテレビのリモコンの「入力切換」ボタンを押します。

!ヒント

・「入力切換」の詳しい方法は、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
・テレビの機種によっては、入力 1 ～入力 3 のように、複数の入力端子が存在することがあります。その場合は、接続した端子と入力切換を合わせてください。

S 映像端子へ接続



●お使いのテレビに「D 映像入力」端子が付いている場合、市販の「D 端子→コンポーネント変換ケーブル」で接続することで、より鮮明な画質でお楽しみいただけます。

映画を鑑賞する場合にオススメ！
別売のケーブルと設定が必要です。
●より鮮明に表示されます。●音ズレが生じる場合があるため、カラオケ用にはビデオ端子での接続をオススメします。

テレビへの接続 ー「D 映像」端子への接続

1 工場出荷状態では端子に保護キャップが装着されていますので、保護キャップを取り外します。

2 テレビの「D 映像入力」端子と本機の「コンポーネントビデオ」端子を、市販の「D 端子→コンポーネント変換ケーブル」で接続します。

3 「音声ケーブル」は別途テレビ（15 ページの「テレビへの接続 ー「ビデオ」端子への接続」を参照）またはステレオ（17 ページの「ステレオへの接続 ー アナログ音声への接続」を参照）に接続してください。

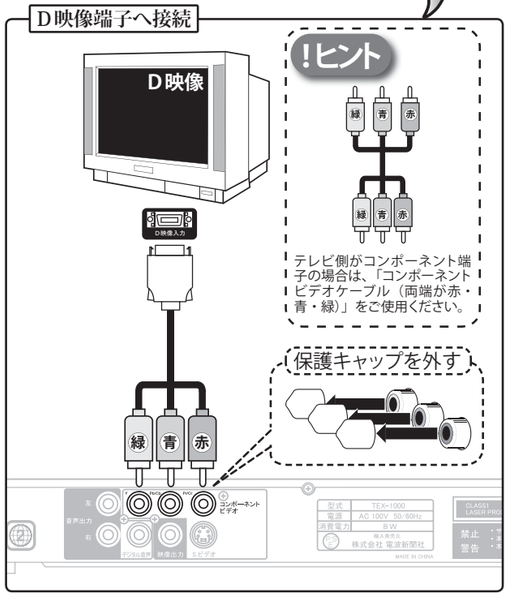
4 本機の「ビデオ出力」を「色差信号」に設定してください（34 ページの「映像設定 ー ビデオ出力」を参照）。

5 テレビの「入力切換」を「D 映像」や「コンポーネント」等に設定してください。通常はテレビのリモコンの「入力切換」ボタンを押します。

!ヒント

「入力切換」の詳しい方法は、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

D映像端子へ接続



ステレオへの接続 ー アナログ音声への接続

●「音声入力」端子のあるステレオやアンプと本機を接続することで、より良い音質で再生することが可能です。お使いのステレオやアンプに「同軸デジタル音声入力」端子が付いている場合、市販の「同軸デジタル音声ケーブル」で本機と接続することで、迫力あるサラウンド音声が楽しめます。

1 15 ページの「テレビへの接続 ー「ビデオ」端子への接続」～ 16 ページの「テレビへの接続 ー「D 映像」端子への接続」を参照して、本機とテレビを「映像ケーブル」で接続します。

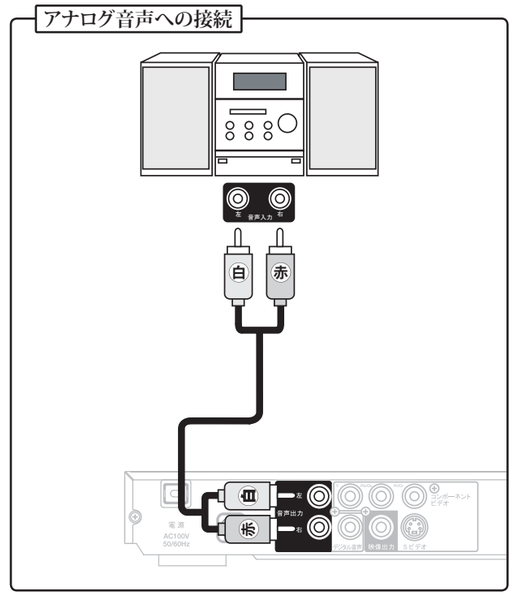
2 お使いのステレオやアンプの「音声入力」端子と本機の「音声出力」端子を市販の「音声ケーブル」もしくは付属の「映像 / 音声ケーブル」の音声部分を使って接続します。

3 テレビとステレオの「入力切換」をそれぞれの入力にあわせて設定してください。通常はステレオやテレビのリモコンもしくは本体の「入力切換」ボタンを押します。

!ヒント

「入力切換」の詳しい方法は、お使いのステレオやテレビの取扱説明書をご覧ください。

アナログ音声への接続



ステレオへの接続 ー デジタル音声への接続

1 15 ページの「テレビへの接続 ー「ビデオ」端子への接続」～ 16 ページの「テレビへの接続 ー「D 映像」端子への接続」を参照して、本機とテレビを「映像ケーブル」で接続します。

2 お使いのステレオやアンプの「同軸デジタル音声入力」端子と本機の「デジタル音声」端子を市販の「同軸デジタル音声ケーブル」で接続します。

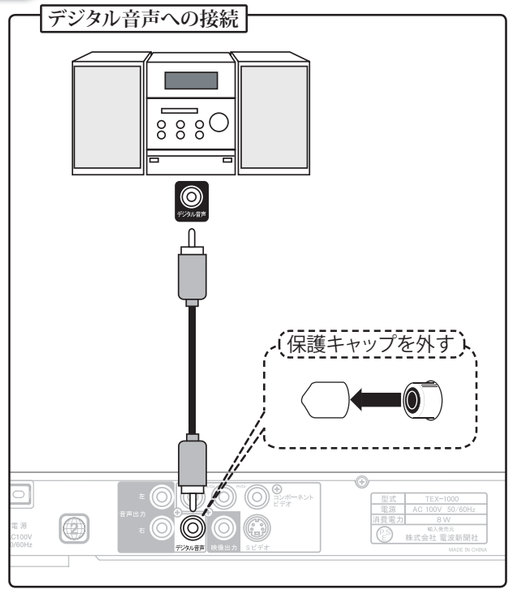
3 テレビとステレオの「入力切換」をそれぞれの入力にあわせて設定してください。通常はステレオやテレビのリモコンもしくは本体の「入力切換」ボタンを押します。

4 本機の「デジタル音声設定」をお使いのステレオに合わせて、「デジタル音声 /PCM」か「デジタル音声 /RAW」に設定します（32 ページの「音声設定 ー デジタル音声設定」を参照）。

!ヒント

・「入力切換」の詳しい方法は、お使いのステレオやテレビの取扱説明書をご覧ください。
・「同軸デジタル音声」は、「S/PDIF」や「Coaxial」と表記されている場合もあります。

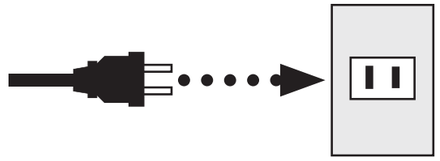
デジタル音声への接続



ディスクを再生する

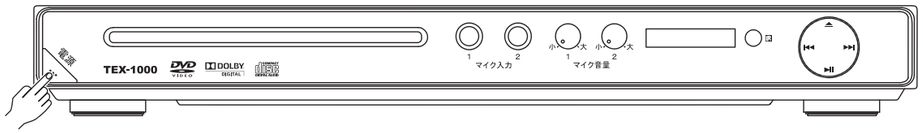
コンセントに接続する

●本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。



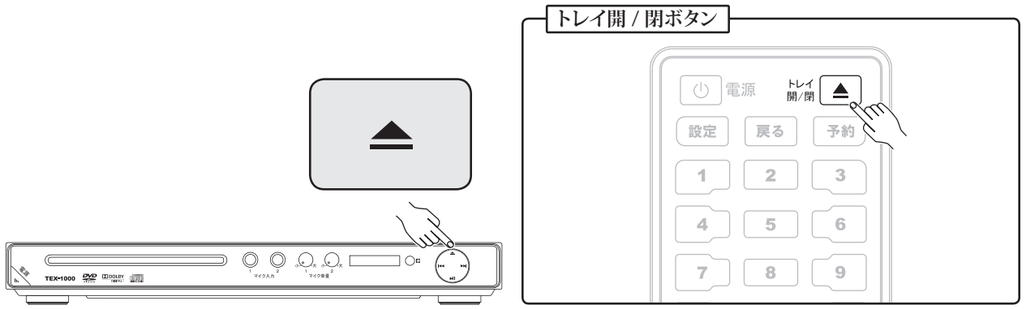
電源を入れる

●本体左下の「電源」ボタンを押します。

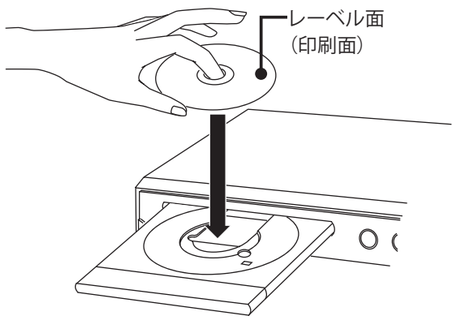


ディスクを挿入する

●本体右の「トレイ開 / 閉」ボタン、またはリモコンの「トレイ開 / 閉」ボタンを押してディスクトレイを開きます。



●再生したいディスクを文字の書いてあるレーベル面を上にしてトレイに載せます。



●本体右の「トレイ開 / 閉」ボタン、またはリモコンの「トレイ開 / 閉」ボタンを押してディスクトレイを閉めます。
読み込みの後、DVD の場合はメニューが表示され、音楽 CD の場合は 1 曲目から再生されます。

!ヒント

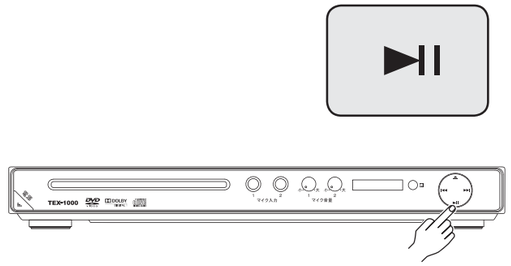
ディスクによってはメニューが表示されないものや再生されないものがあります。
本機で再生できないディスクの場合、画面に「ディスク無し」または「不明なディスク」と表示されます。

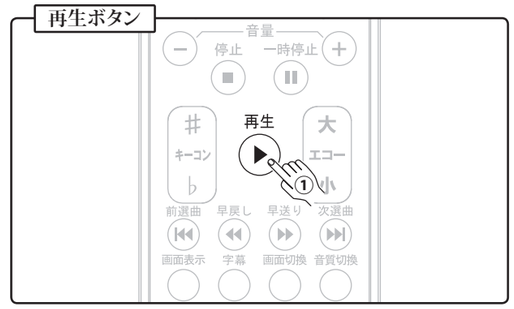
ディスクを再生する

再生 / 一時停止をする

●再生
①本体右の「再生 / 一時停止」ボタン、またはリモコンの「再生」ボタンを押すと、再生を開始します。

●一時停止
②本体右の「再生 / 一時停止」ボタン、またはリモコンの「一時停止」ボタンを押すと、再生を一時停止します。本体右の「再生 / 一時停止」ボタン、またはリモコンの「再生」ボタンを押すと、続きから再生します。



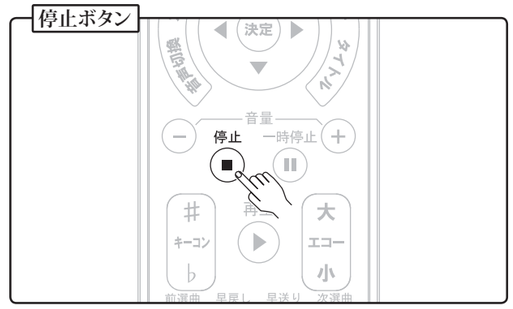


停止をする

●リモコンの「停止」ボタンを押すと、再生を停止します。

「停止」ボタンを押すと、画面に「再生ボタンで続きスタート」と表示されます。

この状態で「再生」ボタンを押すと続きから再生します。もう一度「停止」ボタンを押すと再生を終了します。



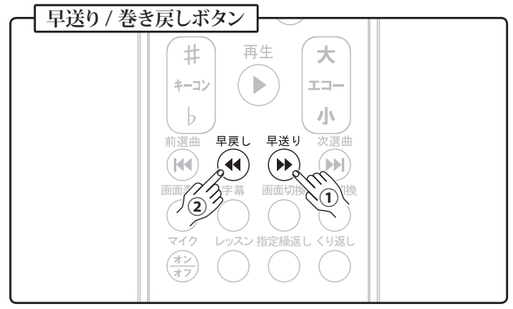
早送り / 早戻しをする

●早送り
①再生中にリモコンの「早送り」ボタンを押すと、希望の位置まで早送りをします。押すごとに 2 倍～ 32 倍まで早送り速度が変わります。

▶ ⏭ 2 倍 ⏭ 4 倍 ⏭ 8 倍
⏭ 32 倍 ⏭ 16 倍 ▶

●早戻し
②再生中にリモコンの「早戻し」ボタンを押すと、希望の位置まで早戻しをします。押すごとに 2 倍～ 32 倍まで早戻し速度が変わります。

▶ ⏮ 2 倍 ⏮ 4 倍 ⏮ 8 倍
⏮ 32 倍 ⏮ 16 倍 ▶



!ヒント

「再生」ボタンを押すと、その位置から通常の早さで再生します。

ディスクを再生する

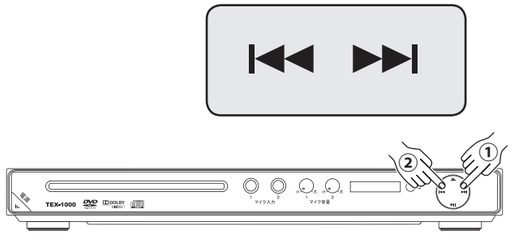
次の曲（前の曲）を選曲する

●次選曲

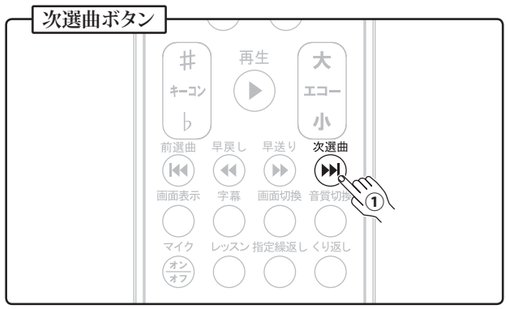
①本体右の「次選曲」ボタンまたはリモコンの「次選曲」ボタンを押すと、次の曲（チャプター）を再生します。

●前選曲

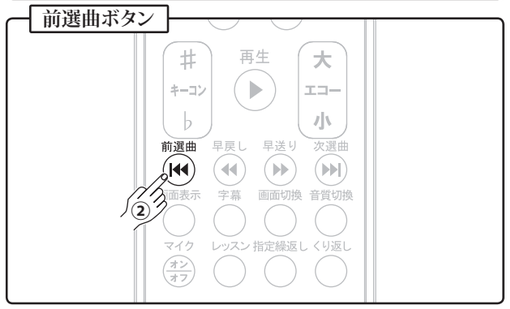
②本体右の「前選曲」ボタンまたはリモコンの「前選曲」ボタンを押すと、曲（チャプター）の頭出しをします。



次選曲ボタン



前選曲ボタン

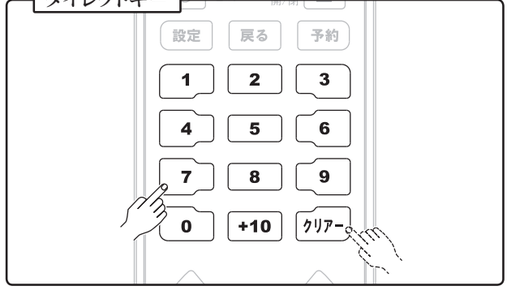


曲（タイトル）番号を指定して再生する

●リモコンのダイレクトキーを押して、曲番号を直接指定して再生します。

（例）
7 曲目の場合 [7] を押す。
17 曲目の場合 [+10] [7] の順に押す。
20 曲目の場合 [+10] [+10] [0] の順に押す。
27 曲目の場合 [+10] [+10] [7] の順に押す。

ダイレクトキー



!ヒント

間違えたときは入力中に限り [クリアー] ボタンを押して再入力できます。

メニューから再生する

● DVD のメニュー画面からチャプターやタイトルを選んで再生します。

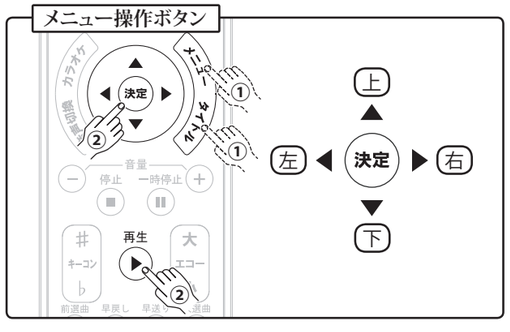
1 ①リモコンの「メニュー」または「タイトル」ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ②リモコンの▲▼◀▶ボタンを押してチャプターまたはタイトルを選び、「再生」または「決定」ボタンで再生します。

!ヒント

DVD によってメニューが収録されていなかったり、その役割が異なる場合があります。

メニュー操作ボタン



ディスクを再生する

予約再生をする

●「予約」ボタンを使って、好きな曲を好きな順番で再生させることができます。

1 ①リモコンの「予約」ボタンを押してテレビの画面に予約メニューを表示します。

2 ②リモコンのダイレクトキーを押して、曲番号を指定します（最大 20 曲まで）。同じ操作を繰り返し、最大 20 曲まで予約が可能です。

（例）
7 曲目の場合 [7] [1] の順に押す。
17 曲目の場合 [+10] [7] [1] の順に押す。
20 曲目の場合 [+10] [+10] [0] [1] の順に押す。
27 曲目の場合 [+10] [+10] [7] [1] の順に押す。

※ DVD の場合は曲番号の後にチャプター番号を入力します。DVD カラオケでは必ず「1」を入力してください。「1」以外を入力した場合は、入力が無効となります。

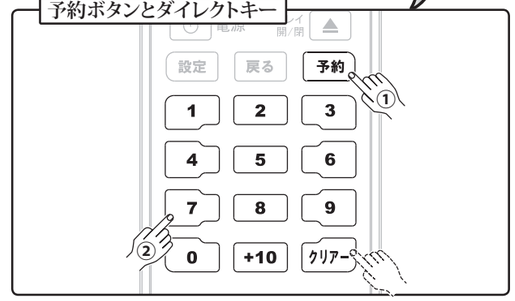
3 ③予約が完了したら「スタート」にカーソルを合わせて「決定」ボタンを押すと予約再生が開始されます。画面には数秒間「予約再生」の文字が表示されます。

4 ④予約再生を停止するときは、リモコンの「停止」ボタンを押してください（画面に「再生ボタンで続きスタート」と表示されます）。

5 ⑤この状態で「再生」ボタンを押すと続きから再開します。もう一度「停止」ボタンを押すと再生を終了します。

カラオケ中に予約することができます。最大 20 曲まで予約可能です。

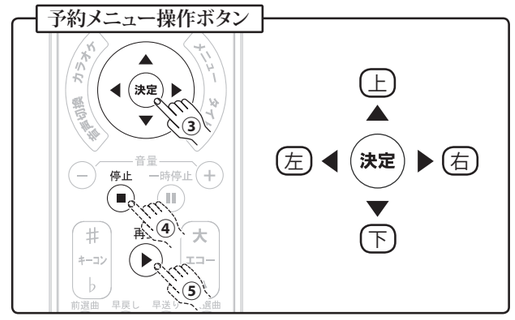
予約ボタンとダイレクトキー



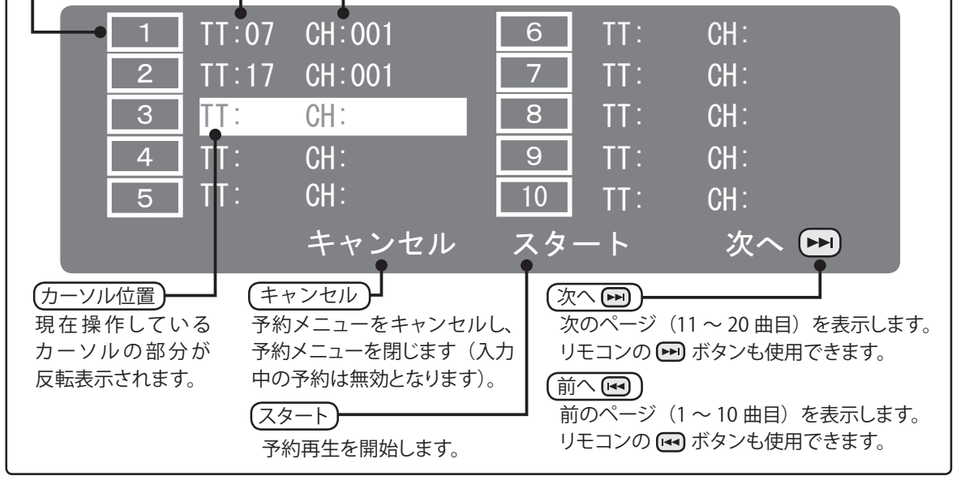
!ヒント

予約を間違えて入力した場合は、▲▼◀▶ボタンで消したい予約を選んで、[クリアー] ボタンを押してください。選んだ予約は消去され、後の予約がくり上がります。

予約メニュー操作ボタン



予約画面



予約を追加・修正する

●予約再生中に「予約」ボタンを使って、予約を追加・修正することができます。

1 ①リモコンの「予約」ボタンを押して予約メニューを表示します。

2 ②リモコンの▲▼◀▶ボタンを使って、追加・修正したいところにカーソルを移動します。

!ヒント

追加する場合は、すでに予約されている番号の１つ次にカーソルを移動します。

3 ③リモコンのダイレクトキーを押して、曲番号を追加・修正します。

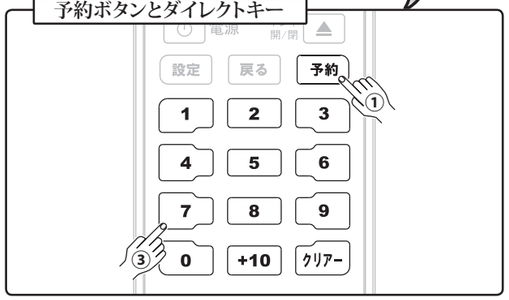
（例）
7 曲目の場合 [7] [1] の順に押す。
17 曲目の場合 [+10] [7] [1] の順に押す。
20 曲目の場合 [+10] [+10] [0] [1] の順に押す。
27 曲目の場合 [+10] [+10] [7] [1] の順に押す。

※ DVD の場合は曲番号の後にチャプター番号を入力します。DVD カラオケでは必ず「1」を入力してください。「1」以外を入力した場合は、入力が無効となります。

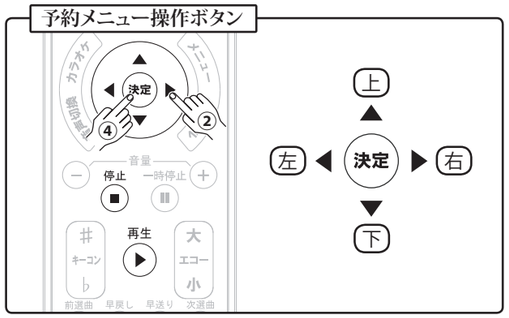
4 ④「追加」にカーソルを移動し、決定ボタンを押します。

カラオケ中に予約を追加・修正することができます。

予約ボタンとダイレクトキー



予約メニュー操作ボタン



!ヒント

・予約をすべて消去し、やり直したい場合は、「消去」にカーソルを合わせて「決定ボタン」を押します。
・一曲だけを選んでクリアーすることはできません。新しい曲番号を上書きで入力するか、すべて「消去」して再入力してください。

予約追加・修正画面

再生順
再生する順番です。

TT： 曲（タイトル）番号です。

CH： チャプター番号です。カラオケ DVD は「001」となります。

カーソル位置
現在操作しているカーソルの部分が反転表示されます。

追加
曲番号を追加・修正して、「追加」を選択するとリストが更新されます。

消去
予約リストを全て消去します。

次へ ⏭
次のページ（11 ～ 20 曲目）を表示します。
リモコンの ⏭ ボタンも使用できます。

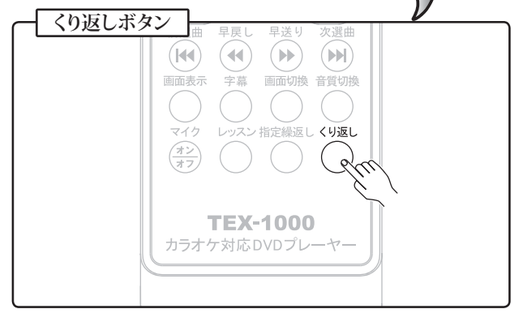
前へ ⏮
前のページ（1 ～ 10 曲目）を表示します。
リモコンの ⏮ ボタンも使用できます。

くり返し再生

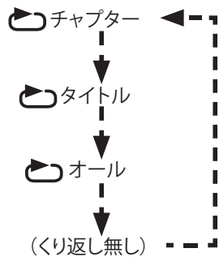
●再生中にリモコンの「くり返し」ボタンを押して、くり返しモードを選択します。

カラオケに便利な機能です。どんどん活用して上達してください。

くり返しボタン

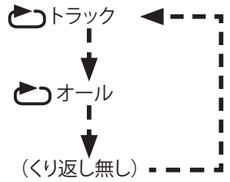


DVD（カラオケ）の場合



CD の場合

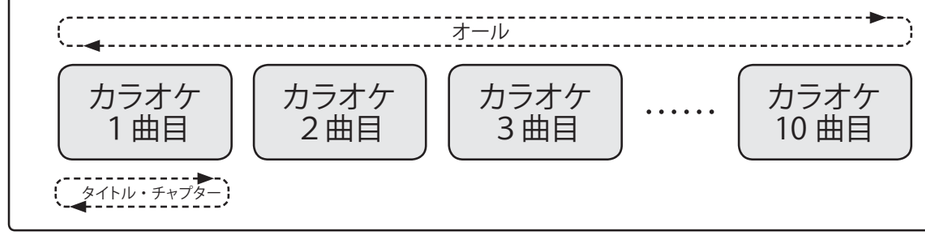
CD にはチャプターやタイトルが存在しません。



カラオケ DVD の場合

画面表示	意味
チャプター	再生中の曲をくり返し再生します。タイトルとチャプターは同じ動作です。
タイトル	
オール	カラオケ DVD に収録されている全ての曲をくり返し再生します。
（くり返し無し）	表示されません。

カラオケ DVD イメージ（全１０曲の場合）



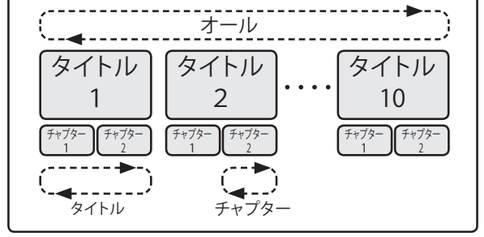
一般的な DVD の場合

画面表示	意味
チャプター	再生中のチャプターをくり返し再生します。
タイトル	再生中のタイトル内に含まれるチャプターを全てをくり返し再生します。
オール	収録されているタイトル全てをくり返し再生します。
（くり返し無し）	表示されません。

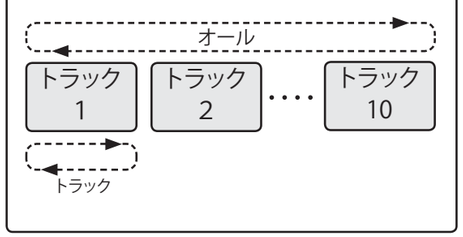
CD の場合

画面表示	意味
トラック	再生中のトラックをくり返し再生します。
オール	収録されている全てのトラックをくり返し再生します。
（くり返し無し）	表示されません。

DVD イメージ（全１０タイトルの場合）



CD イメージ（全１０トラックの場合）



ディスクを再生する

指定繰り返し再生

●指定した部分をくり返し再生できます。

1 開始したい場所「A」で「指定繰返し」ボタンを押します。

2 終了したい場所「B」で「指定繰返し」ボタンを押します。そうすると、「A－B」間をくり返し再生します。

3 もう一度「指定繰返し」ボタンを押すと解除します。

画面表示

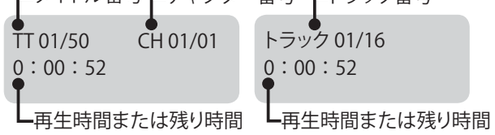
●「画面表示」ボタンを押すごとに、再生中の曲やタイトルと再生時間または残り時間の表示 / 非表示を切り換えます。

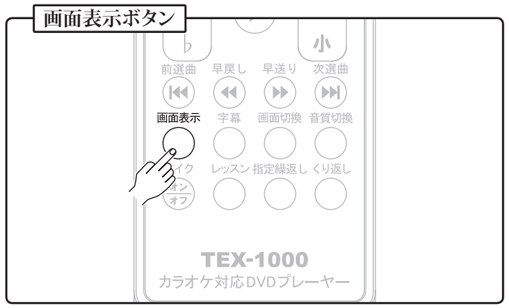
DVD の場合

タイトル再生時間
↓
タイトル残り時間
↓
チャプター再生時間
↓
チャプター残り時間
↓
表示オフ

CD の場合

シングル再生時間
↓
シングル残り時間
↓
トータル再生時間
↓
トータル残り時間
↓
表示オフ





!ヒント

再生時間または残り時間は、本体の多目的表示部にも表示されます。多目的表示部については 11 ページの「表示部の名称と機能」を参照してください。

字幕表示

●字幕が入っている DVD の再生中に、リモコンの「字幕」ボタンを押すことで、字幕の切り換えや表示オフができます。

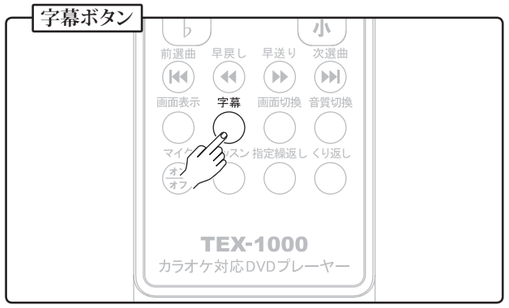
字幕 1 ▶ 字幕 2 ▶ 字幕オフ

日本語字幕

日本語を表示した場合。日本語で字幕が表示されます。

英語字幕

英語を表示した場合。英語で字幕が表示されます。



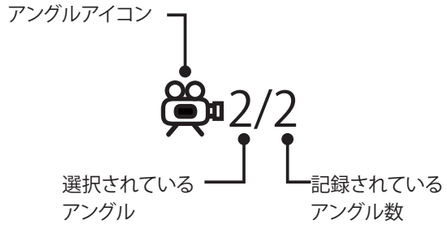
!ヒント

・カラオケの字幕は操作できません。
・DVD によって収録されている字幕は異なります。字幕が収録されていないもの、字幕の操作を制限しているものなど、操作できる範囲が異なる場合があります。

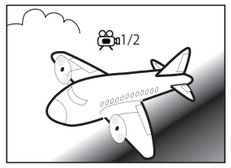
ディスクを再生する

画面切換

●マルチアングルが収録されている DVD で「画面切換」ボタンを押すとアングルを切り換えることができます。マルチアングル再生中は「アングルアイコン」が表示されます。

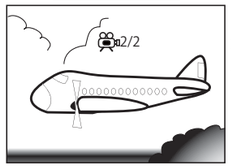


アングル 1/2

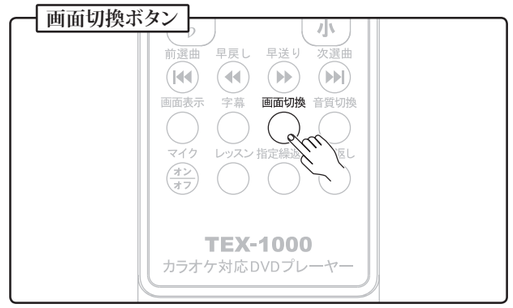


アングル 1 を表示した場合。画面に 1/2 と表示されます。

アングル 2/2



アングル 2 を表示した場合。画面に 2/2 と表示されます。



!ヒント

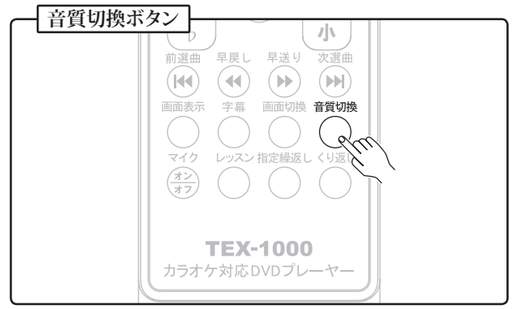
・マルチアングルに対応している DVD はジャケットに右のアイコンが表示されています。アイコンの中の数字はアングル数を表します。

・DVD によって、タイトルメニュー画面でアングルの選択が可能な場合があります。
・本機ではアングル表示の有無を設定することができます。消したい、表示させたい場合は 30 ページの「一般設定 ― アングルマーク」を参照ください。

音質切換

●「音質切換」ボタンを押すごとに音響効果を変更します。実際の聞こえ方は再生するディスクによって異なります。

イコライザ：オフ
↓
イコライザ：ロック
↓
イコライザ：ポップ
↓
イコライザ：ライブ
↓
イコライザ：ダンス
↓
イコライザ：テクノ
↓
イコライザ：クラシック
↓
イコライザ：ソフト



ディスクを再生する

カラオケ機能

●マルチ音声カラオケに対応した DVD の再生中に、「カラオケ」ボタンを押すことで、カラオケモードを切り換えることができます。

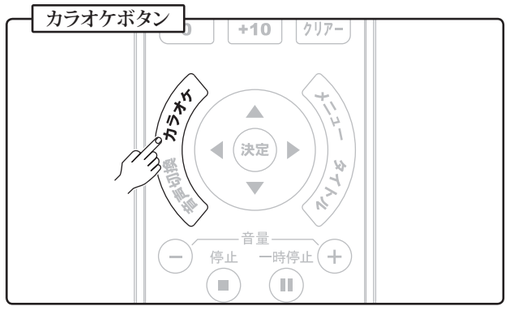
カラオケに便利な機能です。どんどん活用して上達してください。

画面表示	意味
音声無し（メロ付き）	ガイドメロディ付きカラオケ
音声 1 ＋ 2	歌入り（デュエット曲は両方が歌います。）
音声 1	歌入り（デュエット曲は一人目が歌います。）
音声 2	歌入り（デュエット曲は二人目が歌います。）
音声無し（プロ用）	ガイドメロディなしのプロ用カラオケ

!ヒント

「カラオケ」ボタンが使用できるのは、「音声 1 ／ 3」の場合だけです。「音声 2 ／ 3」や「音声 3 ／ 3」ではご使用頂けません。

カラオケボタン



音声切換

マルチ音声カラオケでない DVD の場合

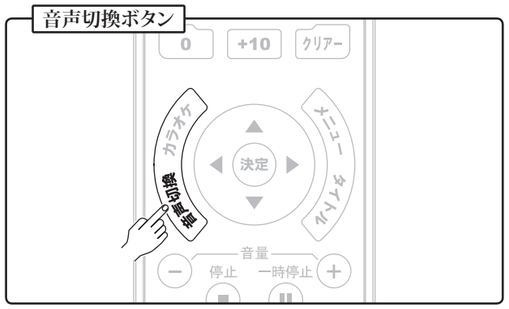
●マルチ音声カラオケでないカラオケ DVD などの再生中に、「音声切換」ボタンを押すことで、音声を切り換えることができます。

画面表示	意味
音声 1 ／ 2	ガイドメロディ付きカラオケ
音声 2 ／ 2	歌入り

!ヒント

音声トラックの数はカラオケディスクの種類によって異なる場合があります。

音声切換ボタン



映画など DVD を見る場合

●映画など、複数の音声トラックが収録されている DVD の再生中に「音声切換」ボタンを押すことで、収録されている音声モードを切り換えます。
（例）日本語⇔英語、主音声⇔副音声など

例　選択モード：音声方式　CH 数　言語

音声　1/3：AC3　5.1CH　英語

↓

音声　2/3：AC3　5.1CH　日本語

↓

音声　3/3：DTS　5.1CH　日本語

!ヒント

- DVD によって収録されている音声モードは異なります。「DTS」など本機で再生できない音声方式もあります。
- 音楽 CD の場合は「音声切換」を押すごとに、「ステレオ」→「左モノラル」→「右モノラル」→「ミックスモノラル」…と切り換わります。

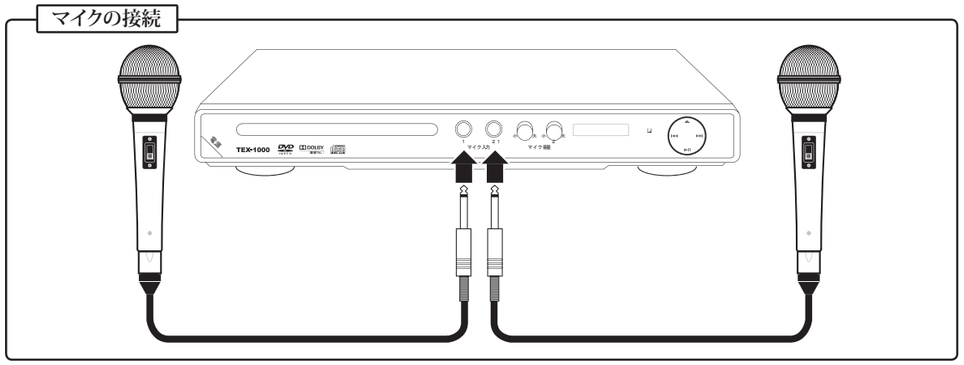
カラオケを楽しむ

マイクを使う

●別売りのマイクを接続することで、本格的なカラオケがお楽しみいただけます。

1

マイクの接続



マイクのプラグを本体前面の「マイク端子 1」または「マイク端子 2」に接続します。標準プラグ（φ 6.3mm）のカラオケ用ボーカルマイクをご用意ください。

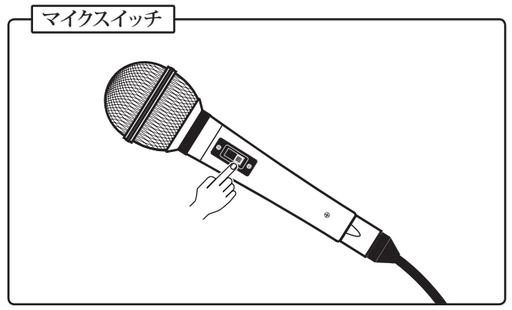
2

マイクのスイッチを「オン」にしてください。

!注意

マイクのスイッチを「オン」にするときは、テレビやスピーカーから離れてください。ハウリング（キーン音）の原因になります。

マイクスイッチ



3

本体前面の「マイク音量」つまみでマイクの音量を調整します。

!注意

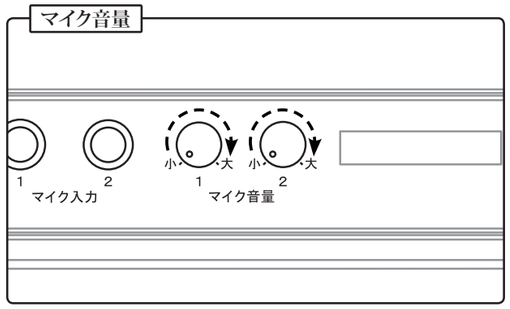
「マイク音量」は確認しながらゆっくり操作しましょう。急激に上げると、ハウリング（キーン音）の原因になります。

!ヒント

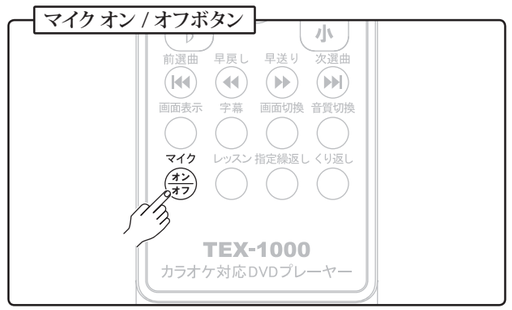
マイク音声が出ない、または音量が思うように上がらないときは？

- マイクのスイッチは「オン」になっていますか？
- リモコンの「マイク オン / オフ」ボタンを押してマイクが「オン」の状態か確認してください。
- マイク設定で「マイク音量」をご確認ください（初期値は「16」です）。詳しくは 32 ページの「音声設定 － マイク設定 － マイク音量」を参照してください。

マイク音量



マイク オン / オフボタン



カラオケを楽しむ

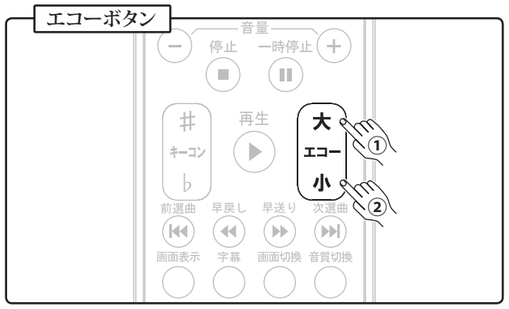
エコー機能

●カラオケを楽しむときのエコーの強弱を「オフ（00）」～「+20」の範囲で調節します。初期設定は「オフ（00）」です。

「大」ボタン　①ボタンを押すごとにエコーを強くします。最大で「+20」です。

「小」ボタン　②ボタンを押すごとにエコーを弱くします。最小は「オフ（00）」です。

エコーボタン



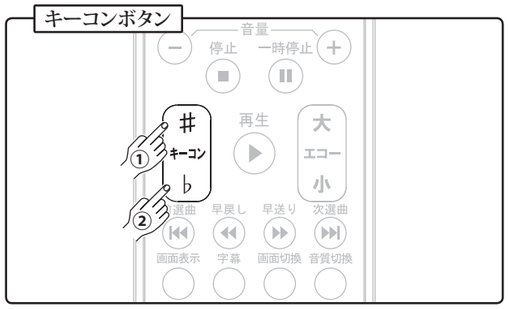
キーコントロール機能

●カラオケを楽しむときのキーの上下を「−04」～「+04」の範囲で調整します。初期設定は「+00」です。

「#」ボタン　①ボタンを押すごとにキーが半音高くなります。最大で「+04」です。

「♭」ボタン　②ボタンを押すごとにキーが半音低くなります。最小で「−04」です。

キーコンボタン



レッスン機能

●カラオケ中、歌えなくなったとき（マイクが音声を認識できないとき）に自動で歌入りにする機能です。

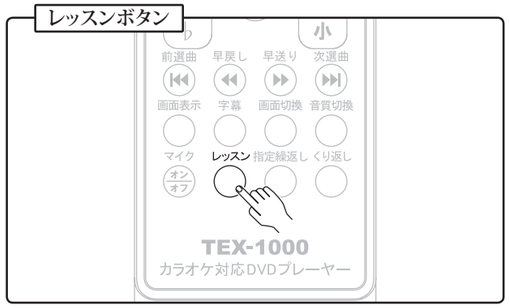
レッスン オン　レッスン機能を使用します。

レッスン オフ　レッスン機能を使用しません。

!ヒント

マイク音量が小さすぎるときは、この機能が反応しないことがあります。

レッスンボタン



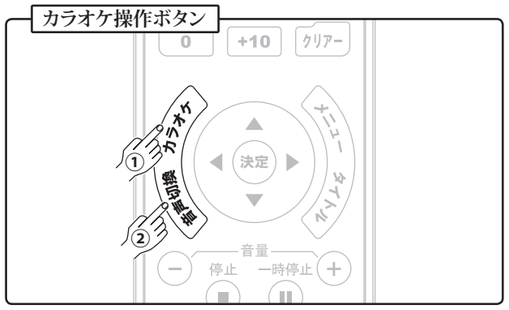
カラオケに便利な機能

①マルチ音声カラオケに対応した DVD の再生中は、「カラオケ」ボタンを押すごとに、カラオケモードを切り換えることができます。

②マルチ音声カラオケに対応した DVD の再生中は、「音声切換」ボタンを押すごとに、ガイドメロディ有り / 無しカラオケを切り換えることができます。

☞これらの詳しくは 26 ページの「カラオケ機能」を参照してください。

カラオケ操作ボタン



!ヒント

マルチ音声カラオケには右のようなマークがジャケットに表示されています。

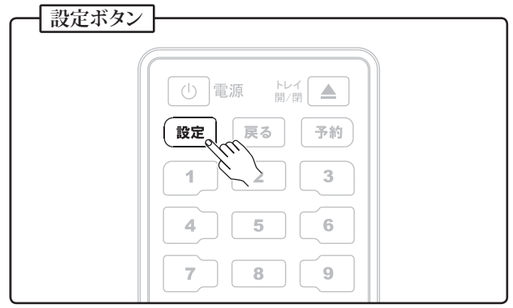
設定を変更する

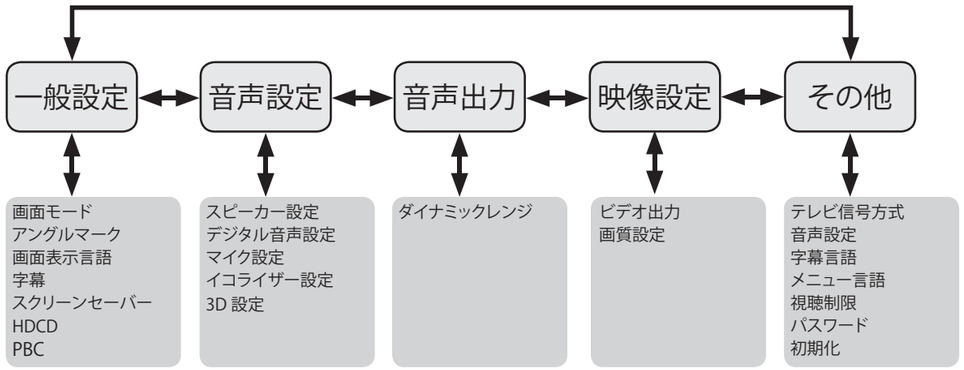
設定画面を操作する

1 停止中にリモコンの「設定」ボタンを押すと設定画面が表示されます。

2 リモコンの◀▶ボタンで「一般設定」「音声設定」「音声出力」「映像設定」「その他」を選び、「決定」または▼ボタンを押して各設定ページに入ります。
※「その他」はディスクが入った状態では選択できません。

設定ボタン





3 ▲▼◀▶で項目を選択して「決定」または▶ボタンで各設定モードに入ります。◀ボタンを押すと、前の選択に戻ります。

4 項目の選択（強さの選択）

オン
オフ

▲▼ボタンで項目を選択、または「スライドバー」を操作し、「決定」ボタンで確定します。

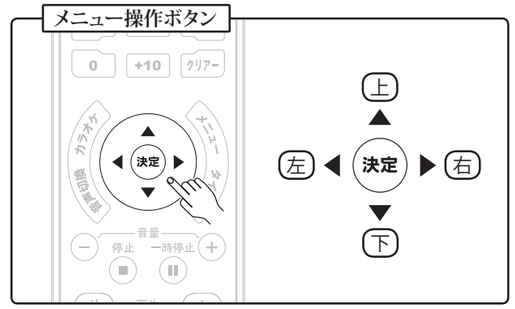
項目の選択（強さの選択）

明るさ +01

◀▶ボタンで数値を増減し、「決定」ボタンで確定します。

5 ②～④の操作をくり返し、設定が完了したら「設定」ボタンを押して設定画面を終了します。

メニュー操作ボタン

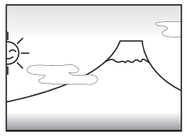


設定を変更する

一般設定 – 画面モード

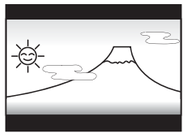
●接続するテレビの形状に合わせて表示方法を設定します。

初期設定 4:3 パンスキャン（PS）



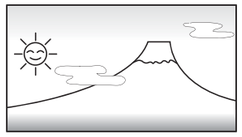
4:3 のテレビにワイド映像の一部を引き伸ばして表示します。

4:3 レターボックス（LB）

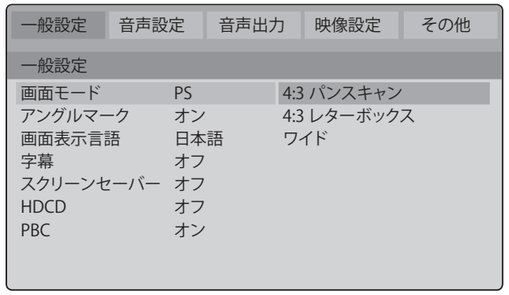


4:3 のテレビにワイド映像を額縁表示します。

ワイド（ワイド）



ワイドテレビに接続するときに設定します。



!ヒント

- DVD に収録されている映像によっては制限があったり、見え方が異なる場合があります。
- ディスクのジャケットなどには、収録されている映像の縦横比 (例 : 4:3 や 16:9 LB) が書かれていますので、ご確認ください。
- テレビ側の設定もご確認ください。

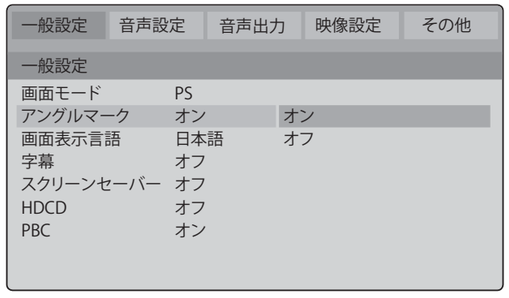
一般設定 – アングルマーク

●マルチアングル DVD で表示されるアングルマークの表示方法を設定します。

アングルマークはマルチアングルが収録された DVD でのみ画面に表示されます。

初期設定 オン　マルチアングルが収録された DVD の再生中は常に表示します。

オフ　「画面切換」するときのみ表示し、一定時間で消えます。



!ヒント

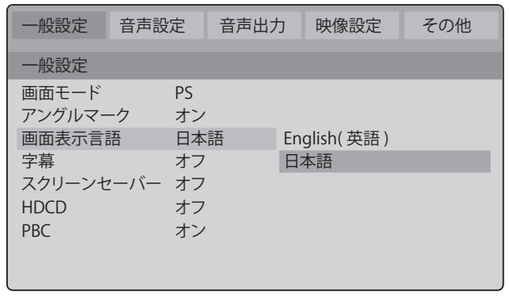
マルチアングルの映像が収録されている DVD はジャケットなどに 3 の表示があります。

一般設定 – 画面表示言語

●画面に表示されるメニューやメッセージの表示言語を変更します。

English(英語)　メニューを英語表示にします。

初期設定 日本語　メニューを日本語表示にします (一部英語表現があります)。



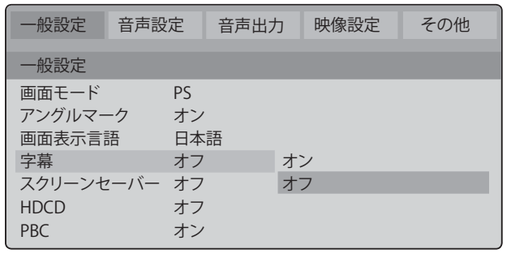
設定を変更する

一般設定 – 字幕

●字幕を設定します。

オン　クローズドキャプションをオンにします。

初期設定 オフ　クローズドキャプションをオフにします。

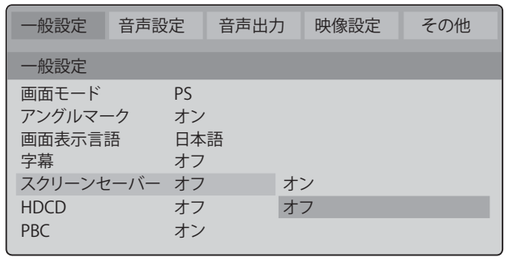


一般設定 – スクリーンセーバー

●一定時間、何も操作が行われなかった場合の動作を設定します。

オン　スクリーンセーバーが起動します。

初期設定 オフ　スクリーンセーバーを起動しません。



!ヒント

スクリーンセーバーの設定に関係なく、本機は一定時間何も操作が行われない場合、スタンバイ（待機）状態になります。

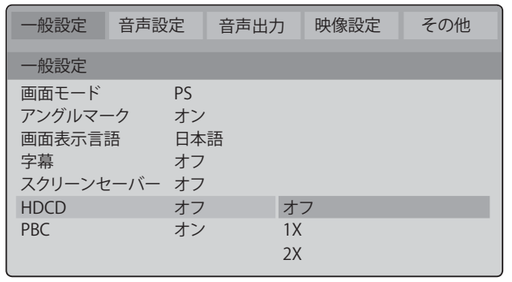
一般設定 – HDCD

● HDCD を設定します。

初期設定 オフ　HDCD 対応を無効にします。

1X　HDCD 対応を有効にし、1 倍（44.1KHz）に設定します。

2X　HDCD 対応を有効にし、2 倍（88.2KHz）に設定します。

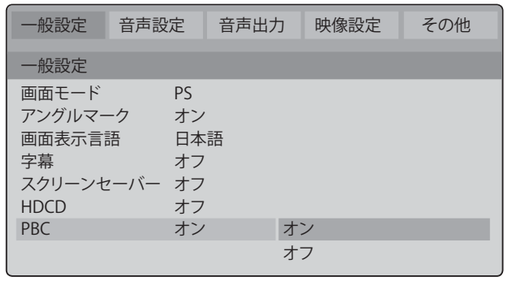


一般設定 – PBC

● VideoCD 再生時のプレイバックコントロール（メニュー機能）を有効 / 無効にします。

初期設定 オン　有効にします。

オフ　無効にします。

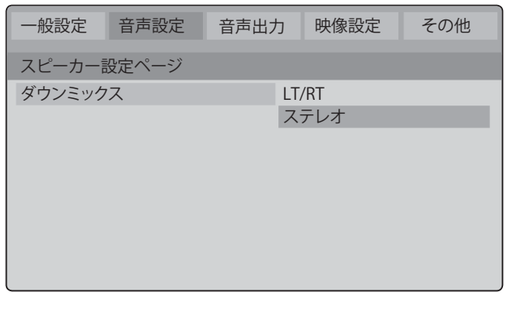


音声設定 – スピーカー設定

●ダウンミックスの方式を設定します。

LT/RT　5.1ch 音声をステレオ 2ch に合成して出力します。

初期設定 ステレオ　ステレオ 2ch 音声を出力します。



!ヒント

カラオケ機能を使用する場合は、「ステレオ」に設定してください。

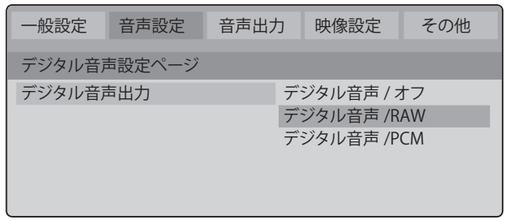
音声設定 – デジタル音声設定

●デジタル音声出力を設定します。

デジタル音声 / オフ　通常のアナログ音声で出力します。

初期設定　デジタル音声 /RAW　デジタル音声出力から RAW で出力します。

デジタル音声 /PCM　デジタル音声出力から PCM で出力します。



!ヒント

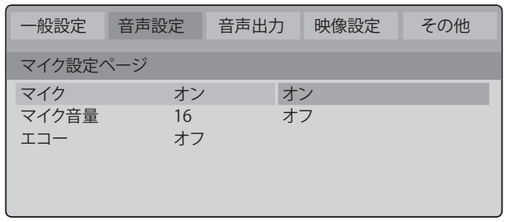
・デジタル音声 /RAW では、デジタル音声出力端子からマイク音声が出力されません。

音声設定 – マイク設定 – マイク

●マイクの有効 / 無効を設定します。

初期設定　オン　マイクを有効にします。

オフ　マイクを無効にします。



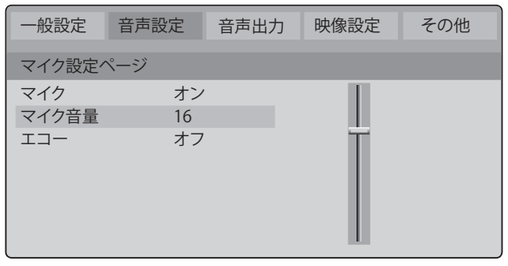
音声設定 – マイク設定 – マイク音量

●マイクの音量を設定します。

マイクの音量を 0 ～ 20 の範囲で設定します。初期設定は 16 です。

!ヒント

本体前面のマイク音量つまみは、この項目で設定された範囲で微調整します。



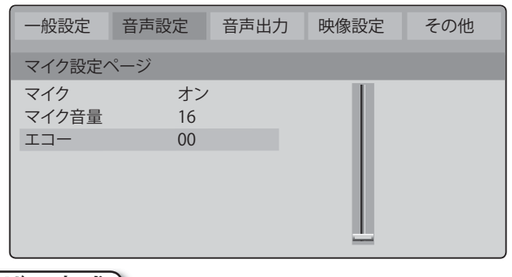
音声設定 – マイク設定 – エコー

●エコーの強弱を設定します。

エコーの強弱を 00 ～ 20 の範囲で設定します。初期設定は 00（オフ）です。

!ヒント

リモコンのエコーボタンでも変更できます。



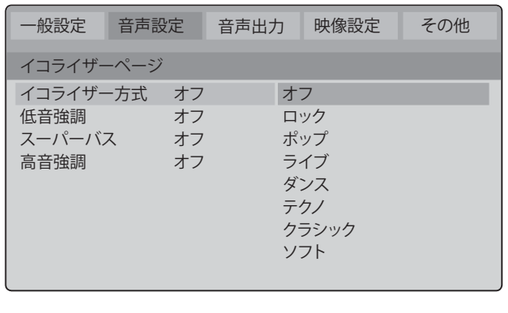
音声設定 – イコライザー設定 – イコライザー方式

●イコライザー方式を設定します。

初期設定　オフ　イコライザーを使用しません。

ロック
ポップ
ライブ
ダンス
テクノ
クラシック
ソフト

それぞれのジャンルにあったイコライザーを選択します。

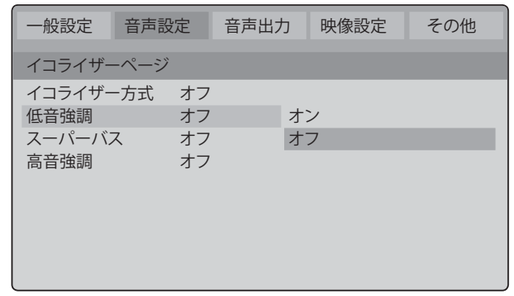


音声設定 – イコライザー設定 – 低音強調

●低音強調の有無を設定します。

オン　低音強調を有効にします。

初期設定　オフ　低音強調を無効にします。

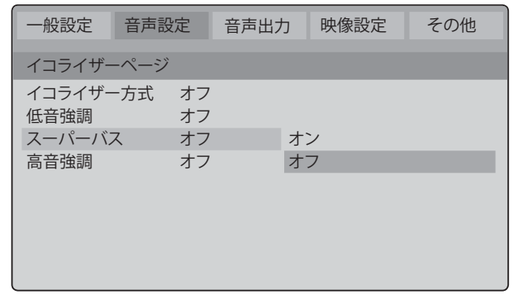


音声設定 – イコライザー設定 – スーパーバス

●スーパーバスの有無を設定します。

オン　スーパーバスを有効にします。

初期設定　オフ　スーパーバスを無効にします。

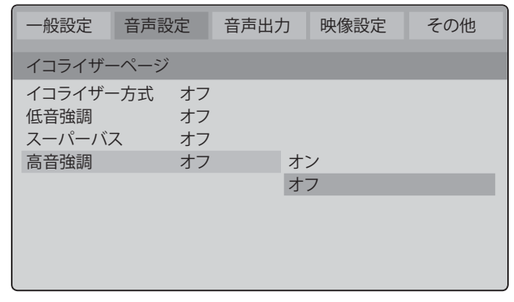


音声設定 – イコライザー設定 – 高音強調

●高音強調の有無を設定します。

オン　高音強調を有効にします。

初期設定　オフ　高音強調を無効にします。



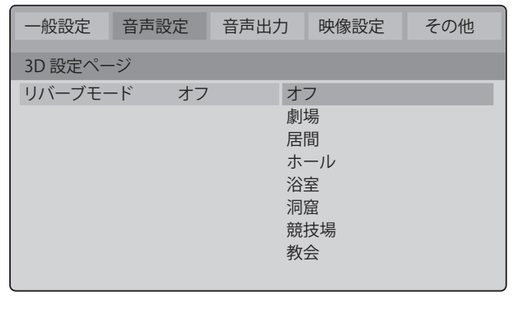
音声設定 – 3D 設定 – リバーブモード

●リバーブモード（音響効果）を設定します。

初期設定　オフ　リバーブを使用しません。

劇場
居間
ホール
浴室
洞窟
競技場
教会

それぞれの場面にあった音響効果を選択します。

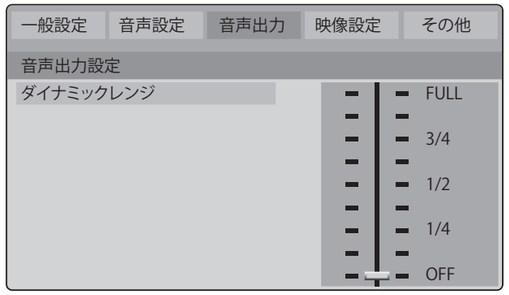


音声出力 ー ダイナミックレンジ

●音声のダイナミックレンジ（最大音量と最少音量の差）を縮める強さを設定します。

1/4 ～ FULL
大音量を抑え、小さな声などを聴きやすくします。
「1/4」～「FULL」になるにつれ効果は大きくなります。

初期設定 **OFF**
そのままの音量で再生します。



映像設定 ー ビデオ出力

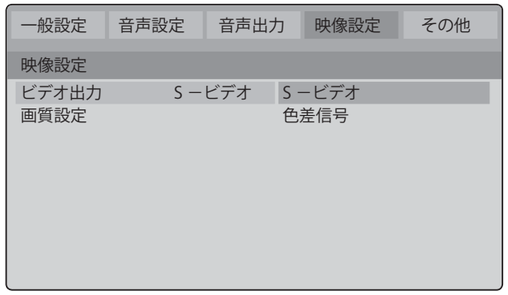
●映像出力の方式を設定します。

初期設定 **S ー ビデオ**
S 端子またはビデオ端子から映像を出力します。

色差信号
コンポーネント映像端子から映像を出力します。

!注意

「色差信号」に設定すると、S ー ビデオ映像が正常に出力されなくなります。



映像設定 ー 画質設定

●画面の画質調整をします。

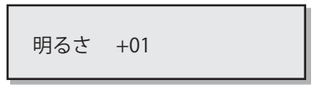
シャープネス
画面のシャープネス効果を（高、中、低）の 3 段階で調整します。初期値は「中」です。

明るさ
画面の明るさを「暗い（ー 20）～明るい（＋ 20）」の範囲で調整します。リモコンの▶ボタンを押すと明るく、◀ボタンを押すと暗くなります。初期値は「00」です。

コントラスト
画面のコントラスト比を「低い（ ー 16） ～ 高 い（ ＋ 16）」 の範囲で調整します。リモコンの▶ボタンを押すと高く、◀ボタンを押すと低くなります。初期値は「00」です。

色合い
画面の色合いを「（ー 9） ～（＋ 9）」の範囲で調整します。初期値は「00」です。

色のこさ
画面の濃さを「淡い（ー 9） ～ 濃い（＋ 9）」の範囲で調整します。初期値は「00」です。



!ヒント

「明るさ」「コントラスト」「色合い」「色のこさ」を選択すると、設定画面が小さくなり、画面の状態を確認しながら変更できます。

その他 ー テレビ信号方式

●テレビに合わせて信号方式を設定します。

自動
信号方式を再生するディスクに合わせて自動で設定します。

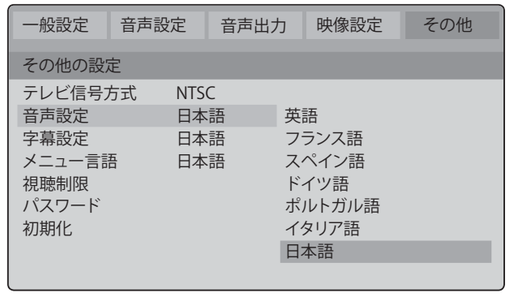
初期設定 **NTSC**
「NTSC」方式のテレビに接続するときに設定します。

その他 ー 音声設定

●この項目で設定した音声言語がディスクに収録されていた場合、優先的に選択されます。

初期設定 **日本語**
「日本語」を優先します。

英語
フランス語
スペイン語
ドイツ語
ポルトガル語
イタリア語
それぞれ「英語」「フランス語」「スペイン語」「ドイツ語」「ポルトガル語」「イタリア語」を優先します。



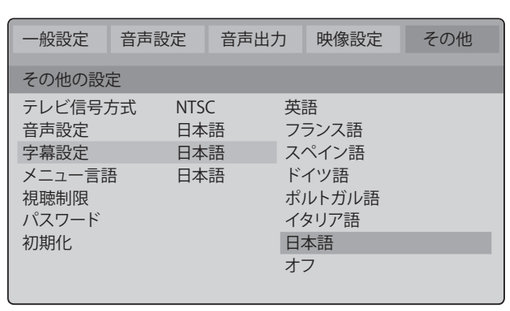
その他 ー 字幕設定

●この項目で設定した字幕言語がディスクに収録されていた場合、優先的に選択されます。

初期設定 **日本語**
「日本語」を優先します。

英語
フランス語
スペイン語
ドイツ語
ポルトガル語
イタリア語
それぞれ「英語」「フランス語」「スペイン語」「ドイツ語」「ポルトガル語」「イタリア語」を優先します。

オフ
非表示にします。

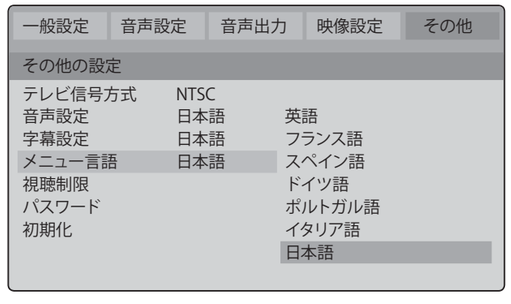


その他 ー メニュー言語

●この項目で設定した DVD タイトルメニュー言語がディスクに収録されていた場合、優先的に選択されます。

初期設定 **日本語**
「日本語」を優先します。

英語
フランス語
スペイン語
ドイツ語
ポルトガル語
イタリア語
それぞれ「英語」「フランス語」「スペイン語」「ドイツ語」「ポルトガル語」「イタリア語」を優先します。



設定を変更する

その他 ー 視聴制限

●視聴年齢制限が設定された DVD の再生を制限します。例:本機の設定が「6」のとき、「7」や「8」の DVD は再生できません。

	1 KID SAFE	子供に安心して見せられる内容。
	2 G	一般向けの内容。
	3 PG	保護者同伴が必要。
	4 PG 13	13 才以下は保護者同伴が必要。
	5 PGR	15 才以下は保護者同伴が必要。
	6 R	17 才以下は保護者同伴が必要。
	7 NC 17	17 才未満は視聴禁止。
初期設定	8 ADULT	制限なし（成人向けの内容）。

!ヒント

収録内容によらず、視聴制限が設定されていない DVD の場合、本機で再生を制限することはできません。

その他 ー パスワード

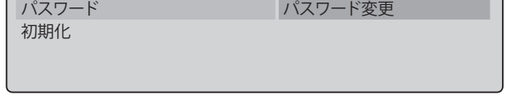
●パスワードを変更します。パスワード変更を選択すると、パスワード変更の画面が表示されます。

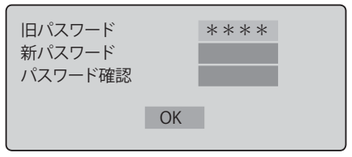
パスワードをリモコンのダイレクトキーで入力してください。出荷時のパスワードは「0000」です。パスワードを忘れてしまった場合は、下記の初期化（リセット）を行ってください。

!注意

初期化（リセット）を行うと、パスワードを含め、すべての設定が工場出荷設定に戻ります。

旧パスワード	現在設定されているパスワードを入力します。パスワードが間違っている場合、クリアされます。入力を誤った場合は、再度入力してください。
新パスワード	新しいパスワードを入力します。
パスワード確認	確認の為、もう一度新しいパスワードを入力します。





!ヒント

入力したパスワードは第三者への漏洩を防ぐため、画面では「＊＊＊＊」と表示されます。

その他 ー 初期化

●本機の初期化（リセット）を行います。

リセット	設定を全て工場出荷状態に戻します。パスワードも「0000」に初期化されます。

困ったときは

電源	電源が入らない。	「電源プラグ」はコンセントに正しく差し込まれていますか?	18 ページ
		本体の「電源スイッチ」は入っていますか?リモコンの「電源」ボタンはスタンバイ（待機）モードと動作モードを切り換えるためのボタンです。	18 ページ
	リモコンが操作できない。	リモコンの電池は消耗していませんか?電池を交換するときは 2 本とも新しいものに換えてください。	14 ページ
		本体正面右側のリモコン受光部に向けて操作していますか?	14 ページ
		本体とリモコンとの距離は「5 m」以内ですか?	14 ページ
		リモコンを近づけすぎていませんか?リモコンは本体から「30cm」以上離してご使用ください。	14 ページ
		「設定画面」を表示したままではないですか?「設定画面」を表示しているときは、設定以外の操作を行えません。	29 ページ
ディスク	ディスクが再生できない。	ディスクを正しくセットしていますか?ディスクの裏表を間違っていませんか?	18 ページ
		対応したディスクをお使いですか?	7 ページ
		ディスクに汚れ、傷などはありませんか?	8 ページ
		ダビングしたディスクをご使用ではありませんか?ダビングしたディスクは再生できない場合があります。	7 ページ
		本機で再生できる「リージョン番号」のディスクをお使いですか?本機で再生可能な「リージョン番号」は、【2】と【ALL】のみです。	7 ページ
		「視聴制限」をかけていませんか?「視聴制限」をかけていると、該当するディスクを再生できません。	36 ページ
映像	映像が出ない。	映像ケーブルは正しく接続されていますか?	15 ページ
		接続したテレビの「入力切換」は正しいですか?	15 ページ
		本機は一定時間操作が行われないとスクリーンセーバーが起動したり、スタンバイ（待機）状態に入ります。リモコンの「電源」ボタンを押すと起動します。	31 ページ
	映像の色がおかしい。	「ビデオ出力」設定は正しいですか?「映像設定」→「ビデオ出力」を変更してください。	34 ページ
		コンポーネント映像出力端子の接続は正しいですか?	16 ページ
音声	音声が出ない。	テレビへの音声ケーブルは正しく接続されていますか?	15 ページ
		ステレオへの音声ケーブルは正しく接続されていますか?	17 ページ
		接続したテレビやステレオの音量は適切ですか? テレビやステレオの取扱説明書でご確認ください。	ー
		音量調整が「0」になっていませんか?リモコンの「音量」ボタンで音量を上げてください。	10 ページ
		早送り / 早戻し中は音声が出ません。通常の再生になっていますか?	19 ページ
	デジタル音声が出ない。	「デジタル音声出力」をデジタル音声 /PCM もしくはデジタル音声 / RAW に設定してください。	32 ページ
		DTS 音声には対応していません。	26 ページ
字幕	字幕が正しく表示されない。	ディスクに指定した言語（日本語など）が収録されていない場合は、その他の音声や字幕で再生されます。	35 ページ
設定	設定を戻したい。	設定を誤って映像や音声がおかしくなった、パスワードを忘れた、そのような場合は設定画面から「初期化」を実行してください。	36 ページ

主な仕様

一般

電源・電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	8W
質量	1.3kg
最大外形寸法	360（幅）× 47（高さ）× 216（奥行き）mm（足や突起部を含まない）
動作温度	+5° C ～ 35° C
動作湿度	5 ～ 85%（結露なきこと）

オーディオ部

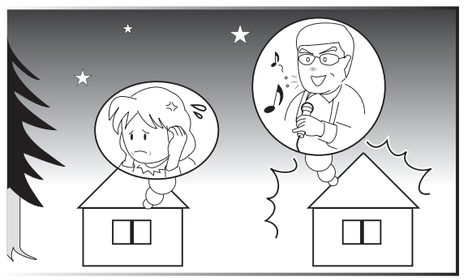
周波数特性	20Hz ～ 20kHz
SN 比	90dB
ダイナミックレンジ	95dB
ワウ・フラッター	測定限界以下
マイクロホン入力	φ 6.3mm 標準ジャック× 2
アナログ音声出力	L/R ピンジャック×各 1
デジタル音声出力	Coaxial ピンジャック× 1

ビデオ部

信号方式	日米標準 NTSC カラーテレビジョン方式
映像出力	1Vp-p、ピンジャック× 1
S 映像出力	（Y）1Vp-p、ミニ DIN4 ピン× 1 （C）0.286Vp-p
コンポーネント映像出力	（Y）1Vp-p （Pb/Cb）0.7Vp-p （Pr/Cr）0.7Vp-p、ピンジャック× 3

※ 仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

音のエチケット



・音楽や映画は迫力のある大音量で楽しみたいものですが、時間帯や環境によっては、他人の迷惑になることもあります。
・特に深夜の時間帯や低音には十分配慮しましょう。
・音量を下げるほかにも、窓を閉めたり、ヘッドホンを使用する方法もあります。
・お互いの心配りで心地よい生活環境を守りましょう。

音のエチケット

著作権について

!注意

●あなたが CD や DVD から録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上の権利者に無断で使用できません。利益を得る場合だけでなく、無償で貸したり、放送する場合でも、権利者の許諾が必要です。

こんな場合も当てはまります。

- **電気店で大型テレビの宣伝の為に映画を流す。**
- **ポピュラー音楽が流れている披露宴の映像を参列者に配る。**
- **商工会主催のカラオケ大会を実施する。**
- **自分がカラオケしているところを録音したテープを友人に貸す。**

●一見すると違法とは思えないこれらの行為も、権利者に無断で実施した場合、たとえ料金を徴収していなくても、著作権を侵害している恐れがあります。音楽を使用する際は、権利者に使用許可の申請をし、許諾を得ることが必要です。権利者とは、作曲家、作詞家、レコード会社などを指します。

●日本では、音楽（洋楽や映画で流れている音楽も含みます）の著作権の多くを、「日本音楽著作権協会（JASRAC）」が権利者から委託されて管理しています。音楽を使用する際は、最寄りの「日本音楽著作権協会（JASRAC）」にご相談ください。

本部	03-3481-2121
北海道支部	011-221-5088
仙台支部	022-264-2266
大宮支部	048-643-5461
東京イベント・コンサート支部	03-5321-9881
横浜支部	045-662-6551
静岡支部	054-254-2621
中部支部	052-583-7590
北陸支部	076-221-3602
京都支部	075-251-0134
大阪支部	06-6244-0351
中国支部	082-249-6362
四国支部	087-821-9191
九州支部	092-441-2285
那覇支部	098-863-1228

※ 平成 24 年 3 月現在。
※ 電話番号のお掛け間違いにご注意ください。

ご相談や修理は

●本製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店へご相談ください。

保　証　規　定

1. 取扱説明書にそった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、保証書欄に必要事項をご記入の上、本体と共にお買い上げの販売店に持ち込み修理をご依頼ください。無償修理いたします。
2. 次のような場合は保証期間内でも有償修理となります。
   - ●使用方法の誤り、および分解や改造による故障及び損傷。
   - ●お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
   - ●地震・火災・水害・落雷などの自然災害や公害、戦争・紛争などに起因するもの。
   - ●仕様に定められている定格以外の異常電圧、温度・湿度でご利用された場合の故障及び損傷。
   - ●家庭用としてではなく、業務用として長時間過酷な環境で使用された場合の故障及び損傷。
   - ●不適切な機器の接続、対応していないディスクの使用などに起因するもの。
   - ●保証書の必要事項の記入がない場合。
3. 出張修理には対応しておりません。
4. 本保証規定は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

保証期間：お買い上げ日より１ヶ年

保　証　書	
お買い上げ日　　年　　月　　日	品　名
販売店名	カラオケ対応 DVD プレーヤー **TEX-1000**
フリガナ	
お名前	
電話番号	
ご住所　〒	
本機シリアルナンバー（製造番号）：S／N	

※販売店によるお買い上げ日、販売店名の記入が無い場合は無効となります。
※通信販売での購入や店舗での保証書の記入が無い場合は、お買い上げ日と店舗名が記載されたレシート・納品書等を購入証明とさせていただきますので、本書と共に大切に保管してください。
※シリアルナンバー（製造番号）は本体背面シールに記載されております。

DVD プレーヤーのお問い合わせは

● DVD プレーヤーのお問い合わせや、転居や贈答品などでお買い上げ販売店にご相談できない場合は、以下までご連絡ください。

＜製品についてのご相談＞ **マイコンソフト株式会社**	**TEL：06-6203-2827** **（土・日・祝日を除く、10:00 ～ 17:00）** 〒 541-0041 大阪市中央区北浜 3-2-25 京阪淀屋橋ビル 6F 電波新聞社内
＜輸入・販売＞ **株式会社電波新聞社**	〒 141-8715 東京都品川区東五反田 1-11-15